

ヒートポンプ式床暖房

据付説明書 1/2

開放型

密閉型は裏面をご覧ください。

二次元バーコードは製造用コードです。

安全上のご注意

- 据付け前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、据え付けてください。
- ここに示した注意事項は、次の2種類に分類しています。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

<p>警告 誤った据付けにより、死亡や重傷などの重大な結果に結び付く可能性が大きいもの。</p>	<p>注意 誤った据付けにより、傷害を負う可能性、または物的損害の可能性のあるもの。状況によっては重大な結果に結び付く可能性があるもの。</p>
---	---

- 本文中に使われる「給表示」の意味は次の通りです。

<p>指示を守る</p>	<p>アース線接続</p>	<p>禁止</p>
---------------------	----------------------	------------------

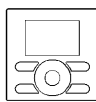


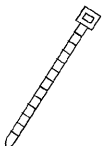


- 据付工事完了後および各種設定確認後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、取扱説明書にそってお客様に使用方法、お手入れのしかたを説明してください。

警告	
<ul style="list-style-type: none"> ●据付けは、お買い上げの販売店または専門業者に依頼する。 <small>(水漏れや感電、火災の原因)</small> ●屋内には据え付けない。 <small>(火災の原因)</small> ●据付工事は、この据付説明書に従って確実にを行う。 ●設置工事は、必ず付属品および指定の部品を使用する。 <small>(ユニットの落下や水漏れ、感電、火災の原因)</small> ●据付けは、重量に十分耐える所に確実にを行う。 <small>(ユニットの落下による、けがの原因)</small> ●電気工事は、電気工事士の資格のある方が「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」およびこの据付説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用する。 <small>(感電や火災の原因)</small> ●据付工事は、電源を切って行う。 <small>(電気部品に触れると感電の原因)</small> ●アース工事は、D種接地工事を行う。アース線は、ガス管や水道管、避雷針、電話のアース線に接続しない。 <small>(感電や火災の原因)</small> ●漏電遮断器を取り付ける。 <small>(感電や火災の原因)</small> ●配線を途中で接続しない、電源コードを束ねない、より線や延長コードの使用、タコ足配線はしない。 <small>(発熱や感電、火災の原因)</small> ●床暖房ユニットと室外ユニット間および電源の配線は、内線規定に従って所定の電線を用いて接続し、端子部に電線の外力が加わらないよう確実に固定する。 <small>(発熱や感電、火災の原因)</small> 	<ul style="list-style-type: none"> ●床暖房ユニットと室外ユニット間および電源の配線は、閉鎖弁カバーなどが浮き上がらないよう電線を成形し、カバーを確実に取り付ける。 <small>(端子部の発熱や感電、火災の原因)</small> ●床暖房ユニットの設置や移設の場合、冷凍サイクル内にR32以外の空気などを混入させない。 <small>(空気などが混入すると、冷凍サイクル内が異常高圧になり、破裂やけがなどの原因)</small> ●指定冷媒(R32)以外は使用しない。 <small>(機器の故障や破裂、けがなどの原因)</small> ●調理室など油煙の多い所、または可燃性ガス、腐食性ガスや金属製のホコリのある場所には据え付けない。 <small>(水漏れや火災、故障の原因)</small> ●可燃性のもの(ヘアスプレーや殺虫剤など)は本体の近くで使用しない。 <small>(ひび割れや感電、引火の原因)</small> ●ポンプダウン作業では、冷媒配管を外す前に圧縮機を停止する。 <small>(圧縮機を運転したまま、かつ閉鎖弁(バルブ)開放状態で冷媒配管を外すと空気などを吸引し、冷凍サイクル内が異常高圧になり、破裂やけがなどの原因)</small> ●据付作業では、圧縮機を運転する前に、確実に冷媒配管を取り付ける。 <small>(冷媒配管が取り付けられておらず、かつ閉鎖弁(バルブ)開放状態で圧縮機を運転すると、空気などを吸引し、冷凍サイクル内が異常高圧になり、破裂やけがなどの原因)</small> ●作業中に冷媒ガスが漏れた場合は、換気し、据付工事完了後は冷媒ガスが漏れていないことを確認する。 <small>(冷媒ガスが火気に触れると、有毒ガスが発生する原因)</small> ●配管、フレアナット、工具はR32用、もしくはR410A用のものを使用する。 <small>(R22の部材を使用すると、機器の故障と同時に冷凍サイクルの破裂などの重大な事故の原因)</small> ●フレアナットはトルクレンチなどで指定の方法で締め付ける。 <small>(締め過ぎると、長期経過後フレアナットが割れ冷媒漏れの原因)</small> ●不凍液を乳幼児、お子様の手の届く所へ置かない。 <small>(健康を害するおそれ) 万一飲んだ場合は、すぐに吐かせて医師の診断を受けてください。</small>

注意	
<ul style="list-style-type: none"> ●可燃性ガスの漏れるおそれのある場所へは据え付けない。 <small>(万一ガスが漏れて、ユニットの周囲にたまると、発火の原因)</small> ●運転中や停止直後に給水タンクのふたを開けない。 <small>(循環水が飛び散ってやけどの原因)</small> 	<ul style="list-style-type: none"> ●床暖房ユニットは、小動物のすみかになるような場所には設置しない。 <small>(小動物が侵入して、内部の電気部品に触れると、故障や発煙・発火の原因) お客様に周辺をキレイに保つことをお願いしてください。</small>

付属品

- ◆リモコンコードは別売品です。

リモコンセット						◎据付板
<p>Ⓐワイヤードリモコン</p>  <p>1個</p>	<p>Ⓑ木ネジ φ3.5×16</p>  <p>2本</p>	<p>Ⓒ小ネジ M4×16</p>  <p>2本</p>	<p>Ⓓ結束バンド</p>  <p>1本</p>	<p>Ⓔ配線押さえ</p>  <p>1個</p>	<p>Ⓕ床暖房ユニット側結束バンド</p>  <p>1本</p>	<p>Ⓖ取扱説明書 1部</p> <p>Ⓗ据付説明書 3部</p> <p>Ⓖ保証書 1部</p>

別 売 品

リモコンコード シース付きビニルコード
(2芯、0.75mm²)

品 名	品 番	
リモコンコード	5m	KRCW301A05
	8m	KRCW301A08
	12m	KRCW301A12
	20m	KRCW301A20
	50m	K-RW2050A
	100m	K-RW2100A

5～20mはY端子付きです。リモコン側はY端子をカットして使用願います。

◆必要な距離に応じて、該当するリモコンコードを用意してください。

◆増設リモコンと合わせて、線長は50m以下にしてください。

床暖房用手配部材

◆別途下記の床暖房用部材が必要です。

- ・床暖房パネル
- ・温水パイプ
- ・断熱筒
- ・CHジョイント
- ・CHクリップ
- ・CH止水栓
- ・Lバンド

床暖房パネルによって異なります。

詳しくは、カタログなどをご覧ください。

指定不凍液

◆地域により必要です。

品番：KM-37
(同等品、ショーワ(株)製 M-37)

増設リモコン

◆2台のリモコンで操作する場合に必要です。

品番：KRC071A1

置 台

◆床置き設置する場合に必要です。

品番：KKS071A41
KKS071A42

据 付 工 事 の ポ イ ン ト

床暖房ユニット

工事のポイント	記載箇所
本機は、 200V専用室外電源機 です。 電源電圧に注意し、電源仕様を確認の上、配線工事を行ってください。	床暖房ユニットの据付け③ 4 配線工事
漏電遮断器の取り付け、D種接地工事を行ってください。	
床暖房パネルの温水パイプは、地域に合った断熱を施してください。	床暖房ユニット据付図
床暖房パネルの温水パイプは、系統1から順に接続します。	床暖房ユニットの据付け② 3 温水パイプの接続
電源ブレーカーを入れた後に、付属リモコンで初期設定を行ってください。	①据付説明書2/2(リモコン設定) ①電源投入
冬期にお客様への引き渡しまでに、電源ブレーカーを切られる場合には、必ず水抜きを行ってください。また、引き渡し時には給水してください。 (指定不凍液を使用の場合は、水抜きを行わないでください)	④取扱説明書「長期間使用しないとき」
電源投入後は、下記の手順に従って試運転を行ってください。 ①床暖房ユニットの給水運転 ②室外ユニットの誤配管・誤配線チェック ③床暖房ユニットの試運転 ④室内ユニットの試運転(室内ユニットを接続している場合) ⑤通常運転	①据付説明書2/2(リモコン設定) ⑥給水運転 ①据付説明書2/2(リモコン設定) ⑩試運転 室外ユニットの据付説明書
床暖房ユニット、室外ユニットともに屋外に据え付けてください。	床暖房ユニットの据付け①

床暖房用部材

◆床暖房用部材の施工方法は、各種床暖房パネルに付属の工事説明書をご確認ください。

床暖房用部材工事のポイント

床暖房パネルと床材が、カタログなどに記載の推奨品であることを確認してください。
推奨品以外の場合は暖まりが悪くなったり、床材にすき間やひび割れが生じたり、指定の不凍液の影響で温水パイプが劣化することがあります。

床暖房の能力を十分に発揮させるためには、床暖房パネルの面積は床面積の70%が標準で、最低60%以上は必要です。

木質フローリングの方向によって、床暖房パネルを敷く方向が決まります。木質フローリングの方向と床暖房パネルの小根太の方向とが直交するように、床暖房パネルを敷いてください。

床暖房パネルの小根太部以外には、絶対に木ネジや釘などを打たないでください。パイプを損傷し、水漏れの原因となります。

施工時および養生時に床暖房パネル表面や温水パイプを傷付けないでください。

温水パイプには粘着テープ(ガムテープ、ビニルテープなど)や塩ビ系樹脂(リモコンコード、電源コードなど)を接触させないでください。パイプが劣化します。

温水パイプは直射日光があたらないように施工、養生してください。パイプが劣化します。

室外ユニットの据付け前に、床暖房パネルの指定の方法で床暖房パネルの漏れがないことを確認してください。

気密テストはゲージ圧力196kPa(2kgf/cm²)で1時間以上行ってください。

(できるだけ、製品の据付け時まで放置してください。)気密テストに水を使用する場合は、凍結に注意してください。

据付場所の選定

●下記断熱が施された住宅であることを確認する。

適用地域	年最低気温がおおむね -5℃以上の地域	年最低気温がおおむね -20℃以上の地域
住宅の 断熱仕様	新省エネルギー(平成4年) 基準以上	次世代省エネルギー(平成11年) 基準以上

- 敷詰め率が不足する場合は、補助暖房を設置する。
- 年最低気温が-10℃を下回る地域や、昼間も0℃以下の気温が数日続く地域、凍結が頻繁に起こるような地域は指定不凍液を使用する。
- 温水パイプ部分で凍結しないよう、地域の気象条件に合わせて断熱を増すか、凍結のおそれのない場所に設置する。
- 据付場所は、お客様の同意を得て決定する。

ワイヤードリモコン

◆①ワイヤードリモコンの据付説明書をご確認ください。

室外ユニット

◆室外ユニットの据付説明書をご確認ください。

床暖房ユニット

- ◆本製品は、屋外設置専用です。
- 製品の重量に耐え、水平に据付けできる所。
- 床暖房ユニットの据付け①**で示す据付スペースが守れる所。
- 防水パン(現地調達品)を設置するか、水が流出しても支障のない所。(防水、排水ができる所)
- 雨、強風、直射日光があたりにくい所。
- 消防法および都道府県の条例などを満足する所。
- 可燃性ガスの漏れるおそれのない所。
- 海岸地域など塩分が多い所、硫化ガス成分が多い所、機械油など油の蒸気が発生する所は避ける。(床暖房ユニットの寿命が短くなることがあります)
- 運転音が隣家の迷惑にならない所。
- テレビ、無線機などのアンテナより3m以上間隔を取れる所。

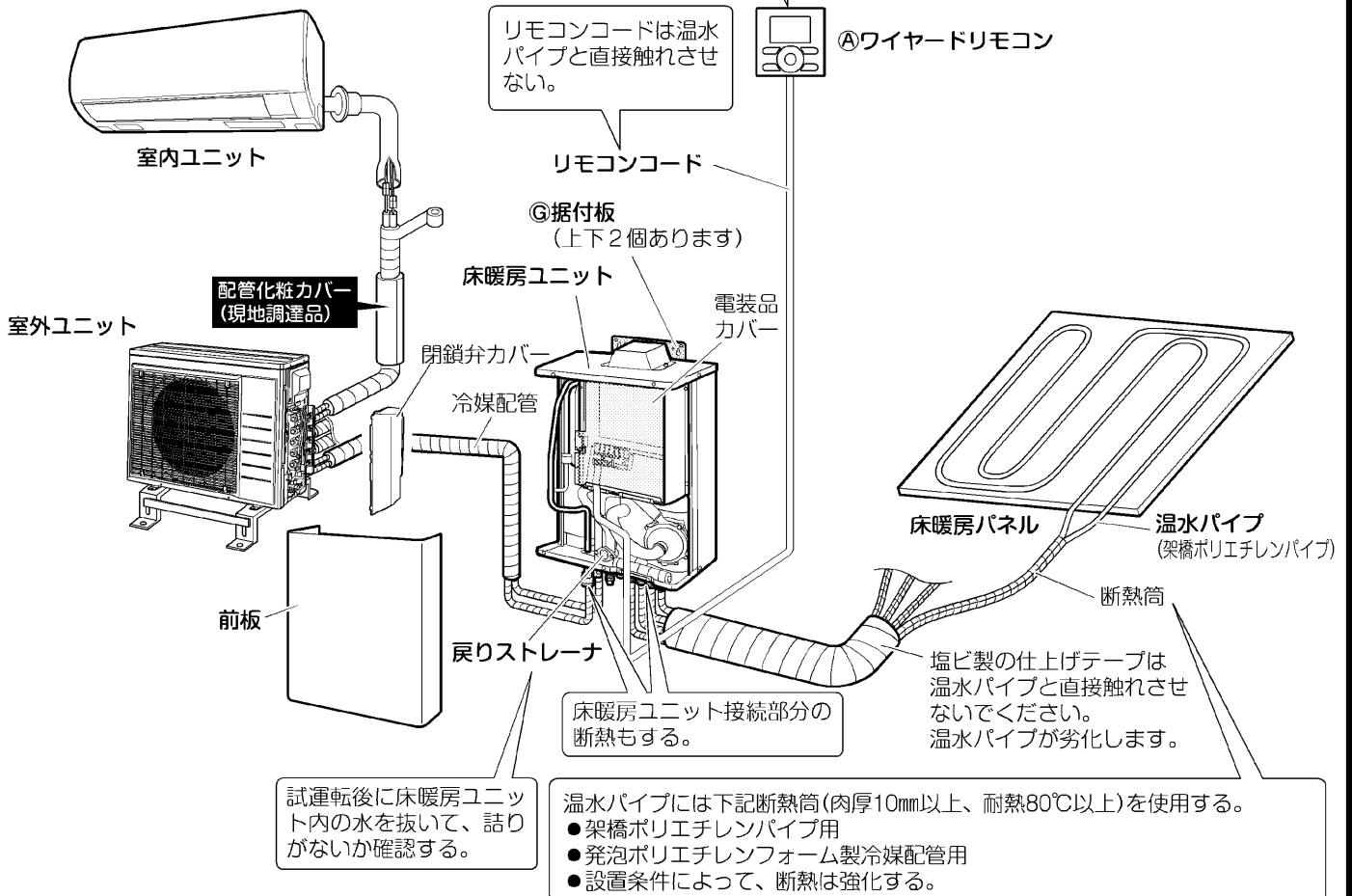
床暖房パネル

- 指定されたお部屋に敷設する。

床暖房ユニット据付図

室内ユニット、室外ユニットの据付についてはそれぞれに付属の据付説明書を参照してください。
(室内・室外ユニットの形状は機種によって異なります)

エアコン連動を使用する場合は、室内ユニットと床暖房パネルが設置されたお部屋の平均的な温度が検出できる場所に据え付ける。



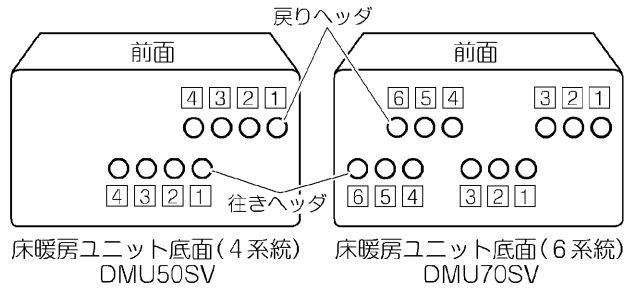
■冷媒配管の許容長さ、床暖房ユニット設置時の各ユニット間高低差

室外ユニットに付属の据付説明書に従ってください。

施工制約

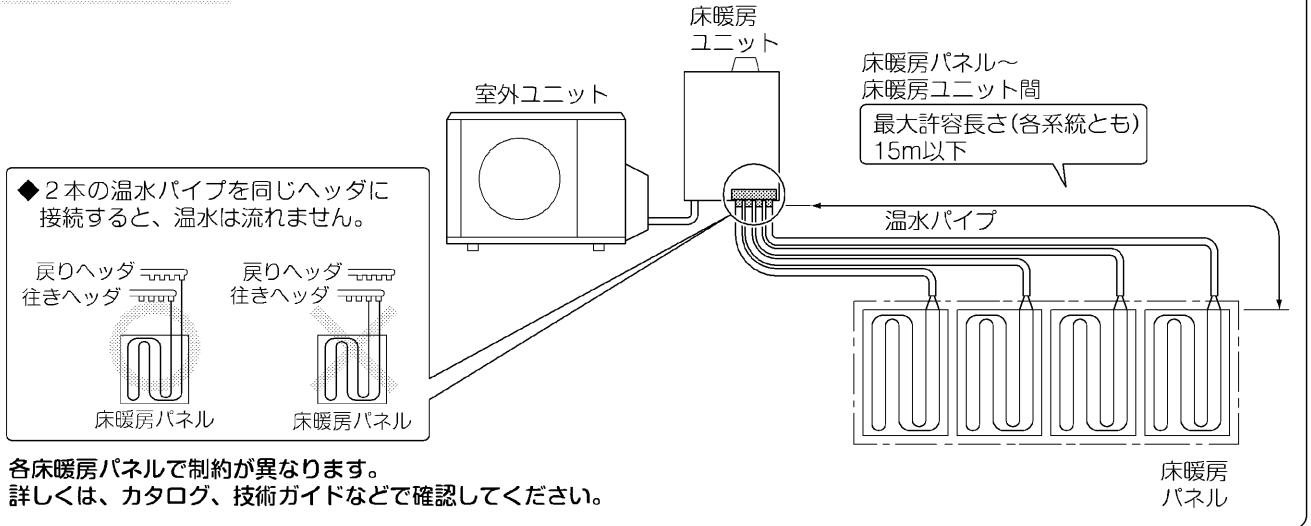
床暖房パネルの施工制約

- ◆床暖房パネルは、DMU50SVでは最大4系統、DMU70SVでは最大6系統まで接続できます。(2系統以上接続してください)
- ◆床暖房パネルを敷詰める面積は、床面積の70%が標準です。最低60%以上は敷き詰めてください。



標準設置例

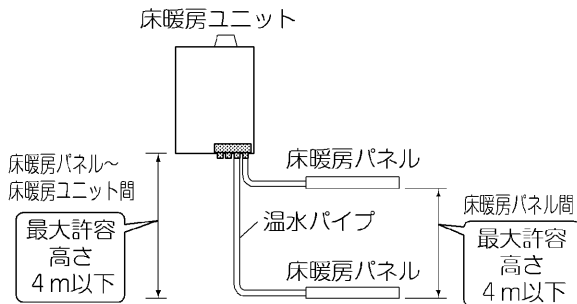
4系統接続の場合



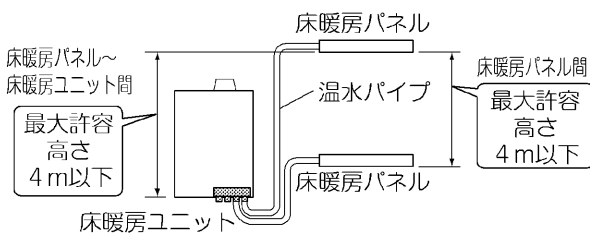
床暖房パネルの最大許容高低差

- ◆床暖房ユニット、床暖房パネルの最大許容高低差は以下の通りです。

床暖房ユニットが床暖房パネルよりも上設置の場合

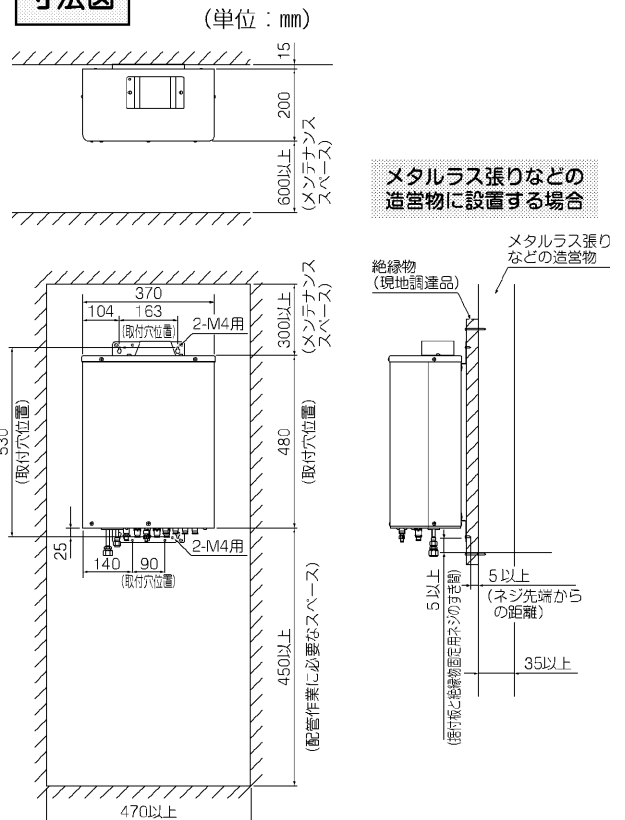


床暖房ユニットが床暖房パネルよりも下設置の場合



- ◆鳥居配管の場合、最高と最低位置の差を4m以下にしてください。

寸法図

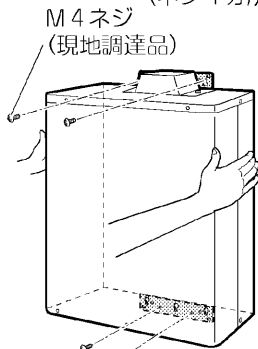
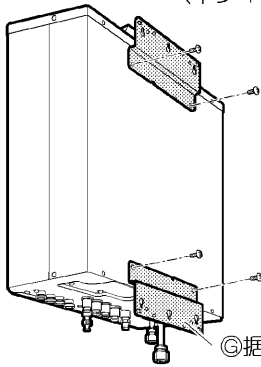


必ず垂直な壁に据え付けてください。

床暖房ユニットの据付け①

1 壁掛け設置

- ① ③据付板を取り付ける(2個) ② 壁面に床暖房ユニットを取り付ける
- ◆前板を取り外す前に③据付板を取り付けてください。
 - 床暖房ユニットの背面に、取り付けてあるネジを外し、付属の③据付板を取り付ける。(ネジ4カ所)
 - 壁に取り付ける。(ネジ4カ所)

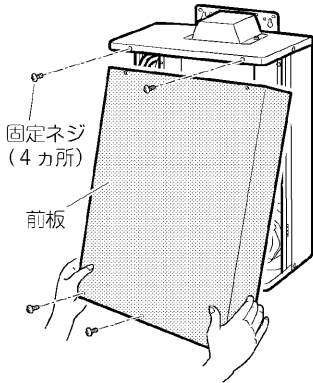


M4ネジ (現地調達品)

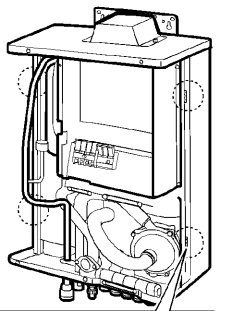
壁面がメタルラス張りなどの造営物の場合、床暖房ユニットと壁面の間に、絶縁物を入れてください。

③ 前板を取り外す

- ①固定ネジ(4カ所)を取り外す。
- ②前板を下方へスライドし手前に引き下げる。



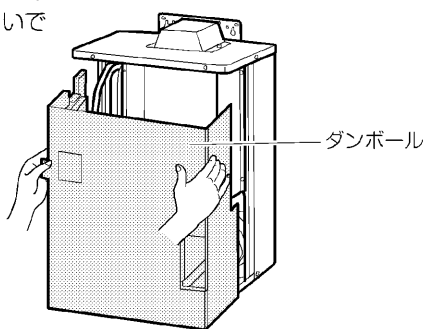
前板の取付けかた



前板にある4本のツメを本体の穴(4カ所)に確実にはめ込む。

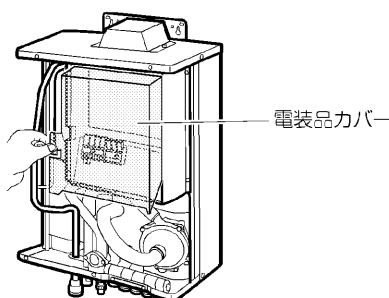
④ 緩衝材(ダンボール)を取り外す

- ◆再取付けはしないでください。



⑤ 電装品カバーを取り外す

- ◆電装品カバー左側のツメを外してから手前に取り外してください。

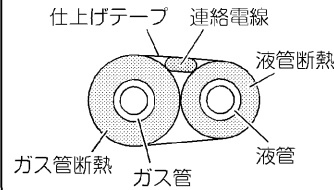
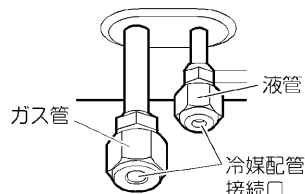


2 冷媒配管の接続

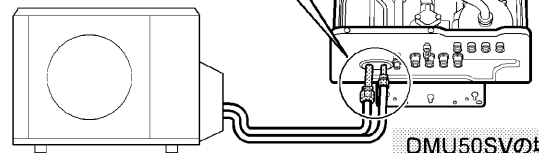
- 年数の経過によるフレアナットの腐食割れを防ぐため、フレアナットは本体付属のものを使用する。
- フレアナットの割れ防止およびガス漏れ防止のため、締付け時はトルクレンチを使用する。
- ガス漏れ防止のため、フレア内面に冷凍機油(エーテル油)を塗る。過剰な締付けトルクにならないよう、フレア外面やフレアナットのネジ部には冷凍機油を塗布しない。(フレア内面に塗布する冷凍機油は、従来のR410A用を使用することもできます)
- 冷媒配管接続部は、フレア中心を合わせ最初手回しで3~4回転ねじ込み、その後所定のトルクでしっかりと締め付ける。(必ず2丁スパナでトルクレンチを使用してください)



配管のまとめ図



室外ユニット



DMU50SVの場合

フレア加工や、エアパージ、ガス漏れ確認が必要です。詳細は室外ユニットの据付説明書を参照してください。

フレアナット締付けトルク

ガス側	液側
32.7~39.9N・m (333~407kgf・cm)	14.2~17.2N・m (144~175kgf・cm)

■既設配管の接続について

- ◆本製品(R32冷媒)は、R410A冷媒で使用していた既設配管に接続可能です。

■フロンについて

R32冷媒



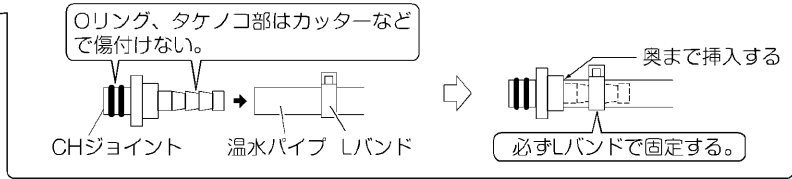
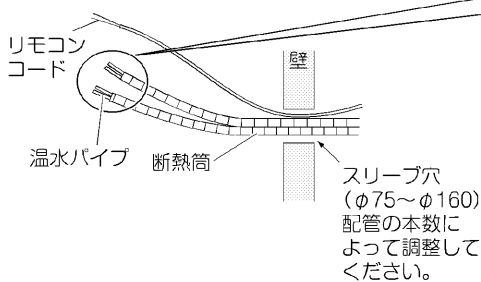
この製品にはGWP(地球温暖化係数)が675のフロン類が封入されています。地球温暖化防止のため、移設・修理・廃棄等に当たってはフロン類の回収が必要です。

この表示は、本製品に温暖化ガス(フロン類)が封入されていることを注意喚起するための表示です。

床暖房ユニットの据付け②

3 温水パイプの接続

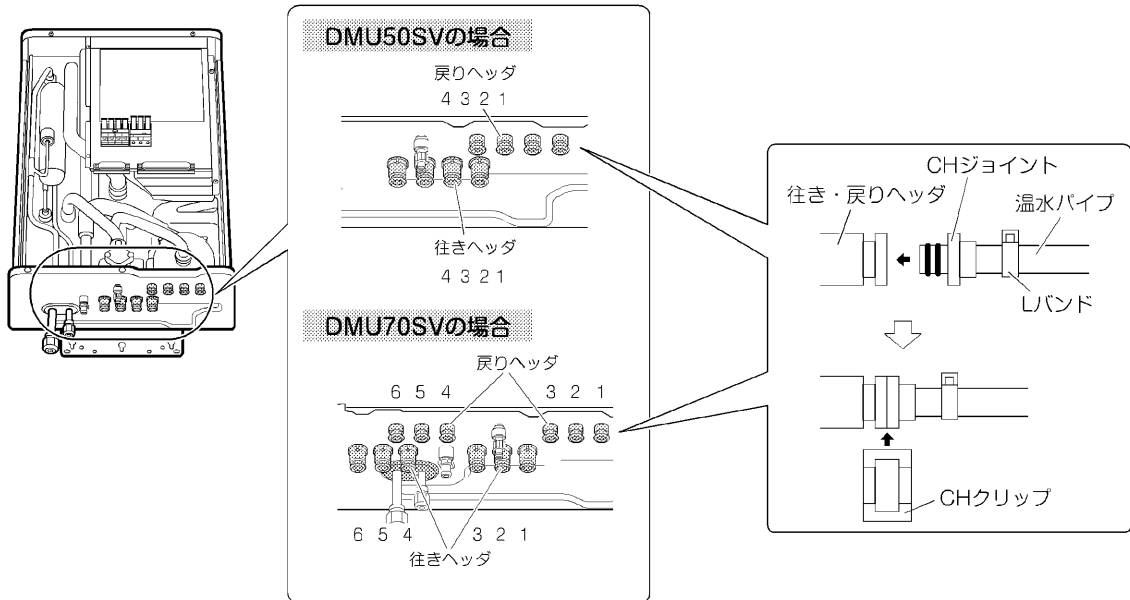
- ①温水パイプ、リモコンコードを床暖房ユニットの接続部に十分届くように引き出す。
- ②温水パイプの先端にCHジョイントを挿入し、バンドで固定する。



- ◆温水パイプの中にゴミやホコリが入らないように注意してください。
- ◆CHジョイントは傷やホコリを付けないよう、ていねいに取り扱いってください。

- ③温水パイプのCHジョイントを行きヘッド、戻りヘッドに挿入し、CHクリップで固定する。
 - ◆CHジョイントが挿入しにくい場合、Oリングに少量の水道水を塗布すると挿入しやすくなります。
 - ◆温水は、行きヘッド→床暖房パネル→戻りヘッドの順に循環します。

図の行きヘッドの数字が①据付説明書2/2(リモコン設定) ⑤ゾーン設定 の熱動弁の番号に対応する。



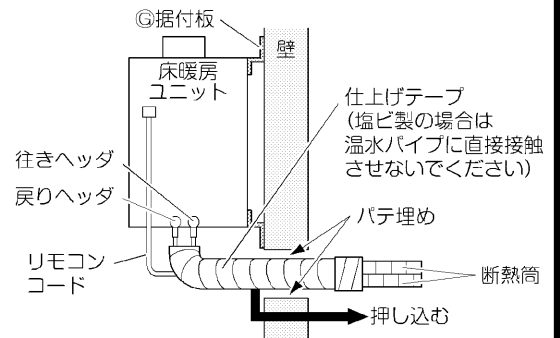
- ◆床暖房パネルがDMU50SVは3系統以下、DMU70SVは5系統以下の場合、各ヘッドの1から順に温水パイプを接続します。例えば、床暖房パネルが2系統の場合は、各ヘッドの1・2に温水パイプを接続してください。
- ◆温水パイプを接続しないヘッドの接続口には、CH止水栓を挿入し、CHクリップで固定します。

CH止水栓は傷やホコリを付けないよう、ていねいに取り扱いってください。

- ④温水パイプは、仕上げテープなどで束ねる。
- ⑤テープで固定した部分がスリーブ穴の内側に確実に入るように押し込む。
- ⑥雨水や小動物の侵入防止のため、スリーブ穴と仕上げた温水パイプのすき間をパテ埋める。

注意

- 温水パイプには粘着テープ(ガムテープ、ビニルテープなど)や塩ビ系樹脂、リモコンコードを接触させない。(温水パイプ劣化の原因)
- 温水パイプは直射日光があたらないように施工、養生する。(温水パイプ劣化の原因)



- ⑦前板(裏側)の銘板の「床暖房パネルの記録」に敷設場所、面積、設定したゾーンを記入する。
 - ◆サービス時に必要となります。

床暖房ユニットの据付け③

4 配線工事

警告

- 据付工事は、電源を切って行う。(感電の原因)
- 連絡電線の途中接続、より線や延長コードの使用、タコ足配線はしない。(発熱や感電、火災の原因)
- リモコンコードの途中接続、タコ足配線はしない。
- 電気工事は、電気工事士の資格のある方が「電気設備に関する技術基準」「内線規程」に従って施工し、必ず専用回路を使用する。(感電や火災の原因)

前板を外して作業を行います。

ネジを外し、下方へスライドし取り外す。(ネジ4本)

リモコンの取付け

◆④ワイヤードリモコンの据付説明書を参照してください。

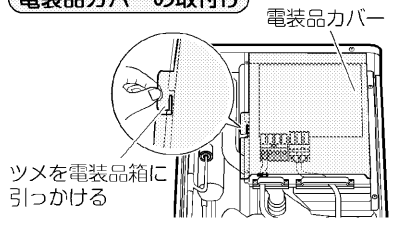
リモコンコードの接続

リモコンコード(別売品)をリモコン端子盤に接続する。
(リモコンコードに極性はありません)

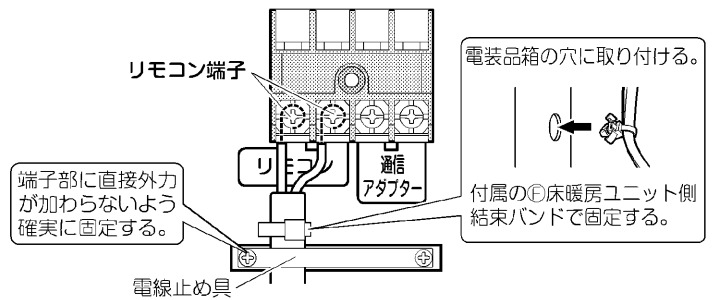
連絡電線の接続

- ①電線の被覆むきを行う。(必ず15mm)
- ②連絡電線と端子盤の色を合わせ、端子盤のそれぞれの挿入口より奥にあたるまで確実に差し込む。
- ③確実に電線が挿入されているか確認窓で確かめる。
- ④電線を引っ張り、抜けないことを確かめた後、電線止め具を取り付けて電線を固定する。
- ⑤電装品カバーを取り付け、ツメを電装品箱に引っかける。

電装品カバーの取付け



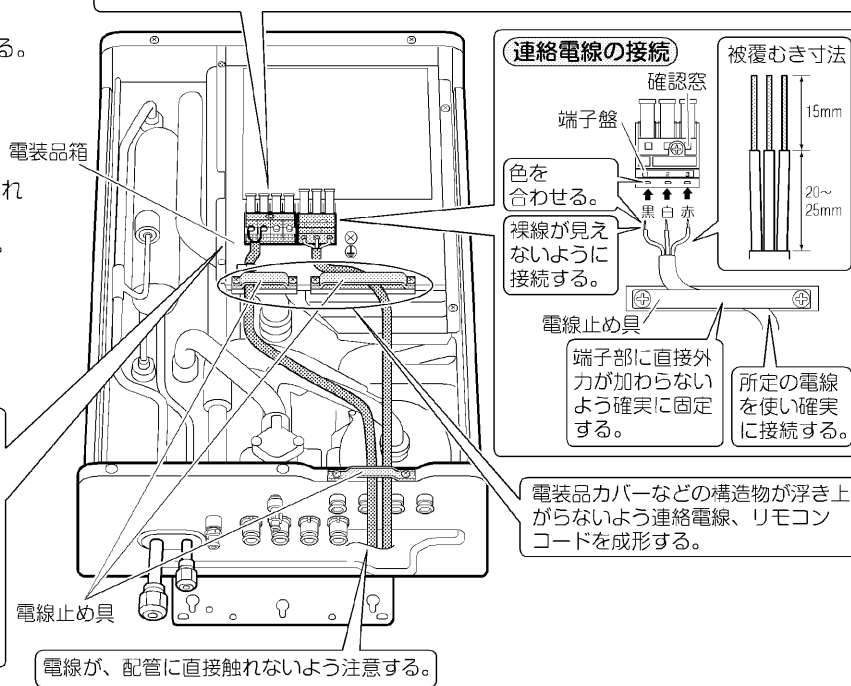
リモコンコードの接続



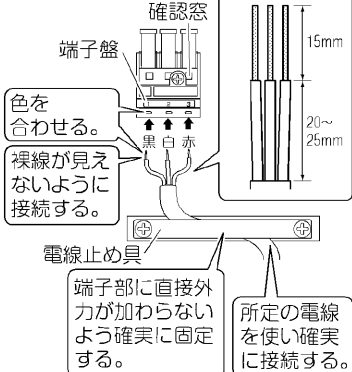
- 端子のネジはしっかり締め付ける。
- 端子への差込みかたは図のようにする。

端子のネジに、必ず右巻きで巻き付ける。

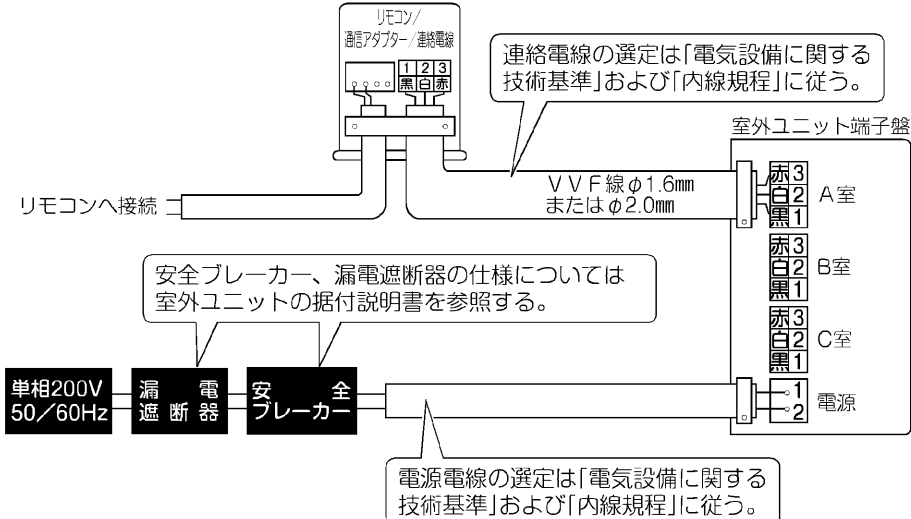
被覆むきはここまで。(被覆むきが長いと感電、漏電の原因)



連絡電線の接続



床暖房ユニット端子盤



室外ユニットとの接続の詳細は室外ユニットの据付説明書を参照ください。

アース工事

警告

アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しない。
(感電や火災の原因)
ガス管は、ガス漏れ時に爆発、引火の危険性があります。
水道管は、感電の危険性があります。また、硬質ビニル管を使用の場合、アースの効果がありません。

接地の基準

◆漏電遮断器(高調波対応品)を取り付け、さらにD種接地工事が必要です。
(本機はインバーター装置を有するため、漏電遮断器自体の誤動作を防止するため、高調波対応品を使用してください)

D種接地工事について

◆電気工事士の方が行ってください。
●接地抵抗は500Ω以下にする。漏電遮断器は定格感度電流30mA以下で動作時間が0.1秒以下の電流動作型のものを取り付ける。

アース工事のしかた

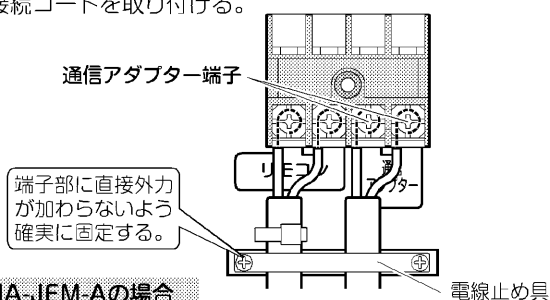
◆室外ユニットの据付説明書を参照ください。(室外ユニットには、必ずアース工事を実施してください)
◆室外ユニットにアース工事を行った場合は、床暖房ユニット側のアース工事は不要です。

必要なときに

外部機器と接続する場合

床暖房に対応した有線・無線LAN接続アダプターの場合

●床暖房ユニットの前板を外し、通信アダプター端子に接続コードを取り付ける。



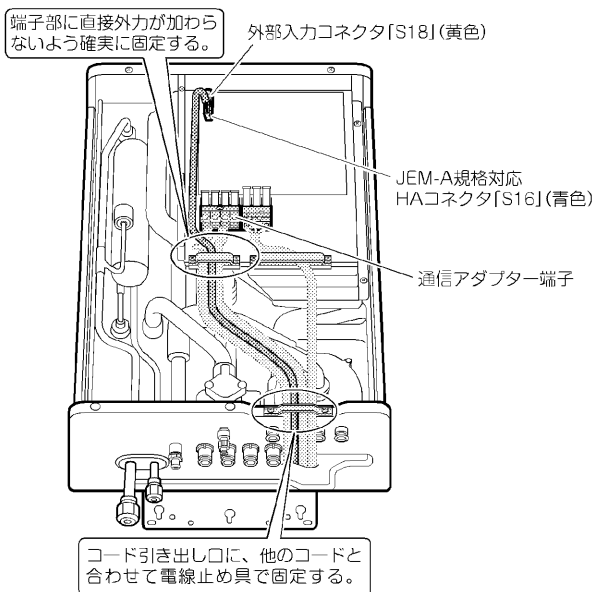
HA-JEM-Aの場合

●プリント基板上のJEM-A規格対応HAコネクタ「S16」(青色)に接続コネクタを取り付ける。

外部入力の場合

●外部入力に接続する場合は、プリント基板上の外部入力コネクタ「S18」(黄色)に接続コネクタを取り付ける。
◆詳しくは、技術ガイドで確認してください。

◆接続コードの引き回しは図を参考にしてください。



試運転前の確認

①据付説明書2/2(リモコン設定) ①電源投入 前に、下記の内容が完了していることを確認してください。

確認項目

チェック項目 欄でチェック(☑)をしてください。

チェック項目	不良の場合
<input type="checkbox"/> 安全ブレーカー1次側で電圧を測定し、200Vであることを確認したか?	運転不能
<input type="checkbox"/> 漏電遮断器は取り付けられたか?	漏電時危険
<input type="checkbox"/> D種接地工事は確実か?	漏電時危険
<input type="checkbox"/> 床暖房ユニットはしっかり据え付けられているか?	振動、異音、落下
<input type="checkbox"/> リモコンは正しく接続されているか?	運転不能
<input type="checkbox"/> 電線は正しく接続されているか?	暖まらない、焼損
<input type="checkbox"/> 電線は仕様どおりか?	運転不能、焼損
<input type="checkbox"/> 温水パイプの断熱は十分か?	凍結
<input type="checkbox"/> 温水パイプの接続は確実か? ●温水パイプを接続しないヘッダの接続口には、CH止水栓を挿入し、CHクリップで固定しているか? ●温水パイプのCHジョイントを往きヘッダ、戻りヘッダに挿入し、CHクリップで固定しているか?	水漏れ、暖まらない
<input type="checkbox"/> 床暖房パネルは制約に従っているか?	暖まらない
<input type="checkbox"/> 床暖房ユニットの電装品カバーは取り付けられたか?	焼損
<input type="checkbox"/> 緩衝材(ダンボール)は取り外したか?	異音

(据付説明書2/2(リモコン設定)につづく)

安全上のご注意

- 据付け前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、据え付けてください。
- ここに示した注意事項は、次の2種類に分類しています。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

<p>警告 誤った据付けにより、死亡や重傷などの重大な結果に結び付く可能性が大きいもの。</p>	<p>注意 誤った据付けにより、傷害を負う可能性、または物的損害の可能性のあるもの。状況によっては重大な結果に結び付く可能性があるもの。</p>
---	---

- 本文中に使われる「給表示」の意味は次の通りです。

<p>指示を守る</p>	<p>アース線接続</p>	<p>禁止</p>
---------------------	----------------------	------------------

- 据付工事完了後および各種設定確認後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、取扱説明書にそってお客様に使用方法、お手入れのしかたを説明してください。

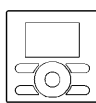


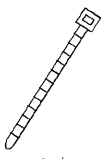


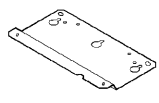
警告	
<ul style="list-style-type: none"> ●据付けは、お買い上げの販売店または専門業者に依頼する。 <small>(水漏れや感電、火災の原因)</small> ●屋内には据え付けない。 <small>(火災の原因)</small> ●据付工事は、この据付説明書に従って確実に進行。 <small>(水漏れや感電、火災の原因)</small> ●設置工事部品は、必ず付属品および指定の部品を使用する。 <small>(ユニットの落下や水漏れ、感電、火災の原因)</small> ●据付けは、重量に十分耐える所に確実に進行。 <small>(ユニットの落下による、けがの原因)</small> ●電気工事は、電気工事士の資格のある方が「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」およびこの据付説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用する。 <small>(感電や火災の原因)</small> ●据付工事は、電源を切って行う。 <small>(電気部品に触れると感電の原因)</small> ●アース工事は、D種接地工事を行う。 アース線は、ガス管や水道管、避雷針、電話のアース線に接続しない。 <small>(感電や火災の原因)</small> ●漏電遮断器を取り付ける。 <small>(感電や火災の原因)</small> ●配線を途中で接続しない、電源コードを束ねない、より線や延長コードの使用、タコ足配線はしない。 <small>(発熱や感電、火災の原因)</small> ●床暖房ユニットと室外ユニット間および電源の配線は、内線規定に従って所定の電線を用いて接続し、端子部に電線の外力が加わらないよう確実に固定する。 <small>(発熱や感電、火災の原因)</small> 	<ul style="list-style-type: none"> ●床暖房ユニットと室外ユニット間および電源の配線は、閉鎖弁カバーなどが浮き上がらないよう電線を成形し、カバーを確実に取り付ける。 <small>(端子部の発熱や感電、火災の原因)</small> ●床暖房ユニットの設置や移設の場合、冷凍サイクル内にR32以外の空気などを混入させない。 <small>(空気などが混入すると、冷凍サイクル内が異常高圧になり、破裂やけがなどの原因)</small> ●指定冷媒(R32)以外は使用しない。 <small>(機器の故障や破裂、けがなどの原因)</small> ●調理室など油煙の多い所、または可燃性ガス、腐食性ガスや金属製のホコリのある場所には据え付けない。 <small>(水漏れや火災、故障の原因)</small> ●可燃性のもの(ヘアスプレーや殺虫剤など)は本体の近くで使用しない。 <small>(ひび割れや感電、引火の原因)</small> ●ポンプダウン作業では、冷媒配管を外す前に圧縮機を停止する。 <small>(圧縮機を運転したまま、かつ閉鎖弁(バルブ)開放状態で冷媒配管を外すと空気などを吸引し、冷凍サイクル内が異常高圧になり、破裂やけがなどの原因)</small> ●据付作業では、圧縮機を運転する前に、確実に冷媒配管を取り付ける。 <small>(冷媒配管が取り付けられておらず、かつ閉鎖弁(バルブ)開放状態で圧縮機を運転すると、空気などを吸引し、冷凍サイクル内が異常高圧になり、破裂やけがなどの原因)</small> ●作業中に冷媒ガスが漏れた場合は、換気し、据付工事完了後は冷媒ガスが漏れていないことを確認する。 <small>(冷媒ガスが火気に触れると、有毒ガスが発生する原因)</small> ●配管、フレアナット、工具はR32用、もしくはR410A用のものを使用する。 <small>(R22の部材を使用すると、機器の故障と同時に冷凍サイクルの破裂などの重大な事故の原因)</small> ●フレアナットはトルクレンチなどで指定の方法で締め付ける。 <small>(締め過ぎると、長期経過後フレアナットが割れ冷媒漏れの原因)</small> ●不凍液を乳幼児、お子様の手の届く所へ置かない。 <small>(健康を害するおそれ) 万一飲んだ場合は、すぐに吐かせて医師の診断を受けてください。</small>

注意	
<ul style="list-style-type: none"> ●可燃性ガスの漏れるおそれのある場所へは据え付けない。 <small>(万一ガスが漏れて、ユニットの周囲にたまると、発火の原因)</small> 	<ul style="list-style-type: none"> ●床暖房ユニットは、小動物のすみかになるような場所には設置しない。 <small>(小動物が侵入して、内部の電気部品に触れると、故障や発煙・発火の原因) お客様に周辺をキレイに保つことをお願いしてください。</small>

MUMS001

付属品

- ◆リモコンコードは別売品です。

リモコンセット						◎据付板	④取扱説明書 1部 ①据付説明書 3部 ①保証書 1部
<p>①ワイヤード リモコン</p>  <p>1個</p>	<p>②木ネジ φ3.5×16</p>  <p>2本</p>	<p>③小ネジ M4×16</p>  <p>2本</p>	<p>④結束バンド</p>  <p>1本</p>	<p>⑤配線押さえ</p>  <p>1個</p>	<p>⑥床暖房ユニット側 結束バンド</p>  <p>1本</p>	<p>◎据付板</p>  <p>2個</p>	

別売品

リモコンコード シース付きビニルコード(2芯、0.75mm)

品名	品番	
リモコンコード	5m	KRCW301A05
	8m	KRCW301A08
	12m	KRCW301A12
	20m	KRCW301A20
	50m	K-RW2050A
	100m	K-RW2100A

5~20mはY端子付きです。リモコン側はY端子をカットして使用願います。

- ◆必要な距離に応じて、該当するリモコンコードを用意してください。
- ◆線長は50m以下にしてください。

指定不凍液

- ◆地域により必要です。
品番：KM-37
(同等品、ショーワ(株)製 M-37)

増設リモコン

- ◆使用できません。

置台

- ◆床置き設置する場合に必要です。
品番：KKS071A41
KKS071A42

密閉式システムの主な現地調達部材

	部材	仕様
①	安全弁	95kPa
②	自動空気抜き弁	-
③	圧力計	最大表示 0.3MPa ~ 0.5MPa
④	密閉式膨張タンク	設定圧力、容量は、 施工制約 を参考に選定してください。
⑤	バルブ	20A

- ◆給水時には、圧送ポンプが必要になります。

据付工事のポイント

床暖房ユニット

工事のポイント	記載箇所
本機は、 200V専用室外電源機 です。 電源電圧に注意し、電源仕様を確認の上、配線工事を行ってください。	床暖房ユニットの据付け③ 4 配線工事
漏電遮断器の取り付け、D種接地工事を行ってください。	
凍結が頻繁に起こるような地域は、指定不凍液を使用してください。	床暖房ユニットの据付け② 3 温水配管工事
温水配管は必ず銅管をご使用ください。	
温水配管は、地域に合った断熱を施してください。	床暖房ユニット据付図
電源ブレーカーを入れた後に、付属リモコンで初期設定を行ってください。	①据付説明書2/2(リモコン設定) ①電源投入
冬期にお客様への引き渡しまでに、電源ブレーカーを切られる場合には、必ず水抜きを行ってください。また、引き渡し時には給水してください。 (指定不凍液を使用の場合は、水抜きを行わないでください)	④取扱説明書「長期間使用しないとき」
電源投入後は、下記の手順に従って試運転を行ってください。 ①床暖房ユニットの給水運転 ②室外ユニットの誤配管・誤配線チェック ③床暖房ユニットの試運転 ④室内ユニットの試運転(室内ユニットを接続している場合) ⑤通常運転	①据付説明書2/2(リモコン設定) ⑥給水運転 ①据付説明書2/2(リモコン設定) ⑩試運転 室外ユニットの据付説明書
床暖房ユニット、室外ユニットともに屋外に据え付けてください。	床暖房ユニットの据付け①

据付場所の選定

- 下記断熱が施された住宅であることを確認する。

適用地域	年最低気温がおおむね -5℃以上の地域	年最低気温がおおむね -20℃以上の地域
住宅の断熱仕様	新省エネルギー(平成4年)基準以上	次世代省エネルギー(平成11年)基準以上

- 年最低気温が-10℃を下回る地域や、昼間も0℃以下の気温が数日続く地域、凍結が頻繁に起こるような地域は指定不凍液を使用する。
- 温水配管部分で凍結しないよう、地域の気象条件に合わせて断熱を増すか、凍結のおそれのない場所に設置する。
- 据付場所は、お客様の同意を得て決定する。

ワイヤードリモコン

- ◆Aワイヤードリモコンの据付説明書をご確認ください。

室外ユニット

- ◆室外ユニットの据付説明書をご確認ください。

床暖房ユニット

- ◆本製品は、屋外設置専用です。
- ◆製品の重量に耐え、水平に据付けできる所。
- 床暖房ユニットの据付け①**で示す据付スペースが守れる所。
- 防水パン(現地調達品)を設置するか、水が流出しても支障のない所。(防水、排水ができる所)
- 雨、強風、直射日光があたりにくい所。
- 消防法および都道府県の条例などを満足する所。
- 可燃性ガスの漏れるおそれのない所。
- 海岸地域など塩分が多い所、硫化ガス成分が多い所、機械油など油の蒸気が発生する所は避ける。(床暖房ユニットの寿命が短くなることがあります)
- 運転音が隣家の迷惑にならない所。
- テレビ、無線機などのアンテナより3m以上間隔を取れる所。

パネルヒーター(ラジエータ)

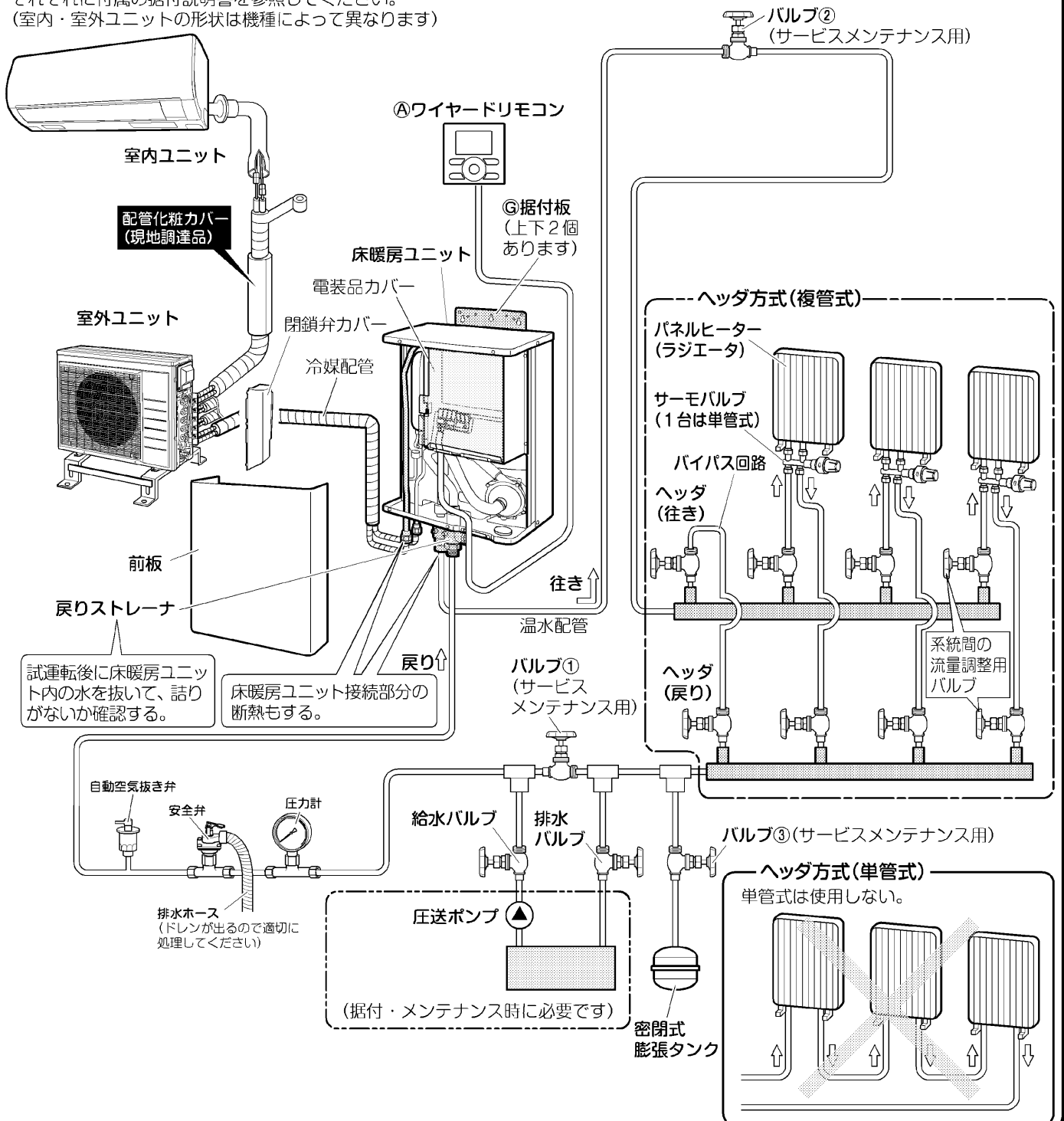
- ◆パネルヒーター(ラジエータ)の据付説明書をご確認ください。

床暖房ユニット据付図

パネルヒーター(ラジエータ)施工制約

- ◆各パネルヒーター(ラジエータ)で制約が異なります。使用されるパネルヒーター(ラジエータ)の据付説明書および技術ガイドに従ってください。
- ◆行き温度50℃で暖房負荷に合ったパネルヒーター(ラジエータ)を選定してください。
- ◆温水配管に樹脂配管を使用すると、パネルヒーター(ラジエータ)内に錆が発生する原因になります。必ず銅配管をご使用ください。
- ◆温水配管は、ヘッダ方式(複管式)にしてください。
- ◆温水回路の保有水量に応じた密閉式膨張タンクを選定してください。
- ◆温水回路は必ず密閉され空気の混入がないようにしてください。また温水回路のエア抜きは十分行ってください。
- ◆すべてのパネルヒーター(ラジエータ)のサーモバルブが全閉になっても2L/minの流量を確保できるように、バイパス回路を設置するか、単管式のサーモバルブを1台は使用してください。

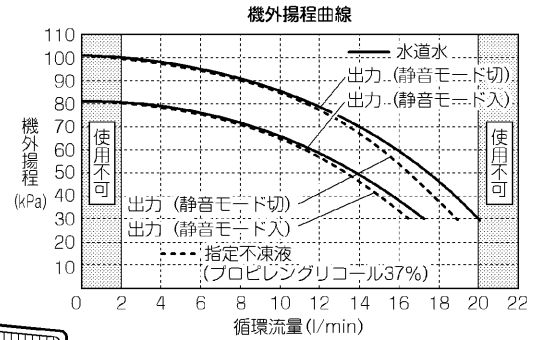
室内ユニット、室外ユニットの据付けについてはそれぞれに付属の据付説明書を参照してください。
(室内・室外ユニットの形状は機種によって異なります)



施工制約

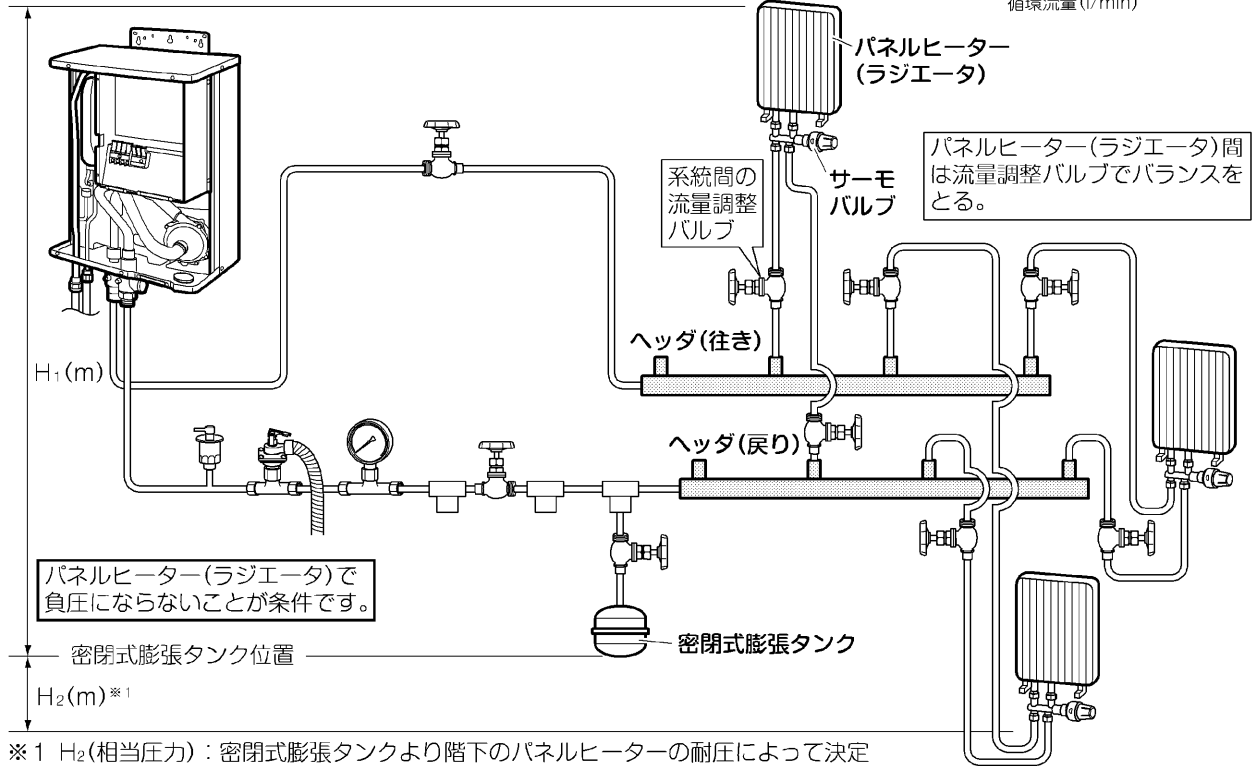
機外揚程の確認

パネルヒーター(ラジエータ)や温水配管長さ、曲がりを含めた温水回路の全損失水頭が床暖房ユニットポンプ機外揚程曲線の使用不可域にならないようにしてください。



密閉式膨張タンクの選定

設定圧力と容量に合った密閉式膨張タンクを選定してください。



(1)「密閉式膨張タンクの設定圧力」の決定方法

「密閉式膨張タンクの設定圧力」= P₁ (補給水圧力)

$$P_1 (\text{補給水圧力}) = H_1 (\text{m}) \times 10 + (0 \sim 20) \quad (\text{単位: kPa})$$

*2 20kPaは、パネルヒーターでのエア抜きに必要な圧力 (水張り時や運転中にエア抜きを行うことで不要になります)

(2)「密閉式膨張タンクの容量」の決定方法

(水と不凍液で膨張率 ε が異なるため、必要な容量も異なります)

密閉式膨張タンクの容量

$$V = [V_s \times \varepsilon] \div [1 - (P_1 + 100) / (P_2 + 100)] \quad (\text{単位: kPa})$$

*3 100kPaは、大気圧

V_s : システム全水量 (単位: リットル)

ε : 温水平均温度における水(不凍液)の膨張率
[温水温度60℃ ε = 0.0171(水)
/ ε = 0.0275(不凍液 別売品: KM-37)]

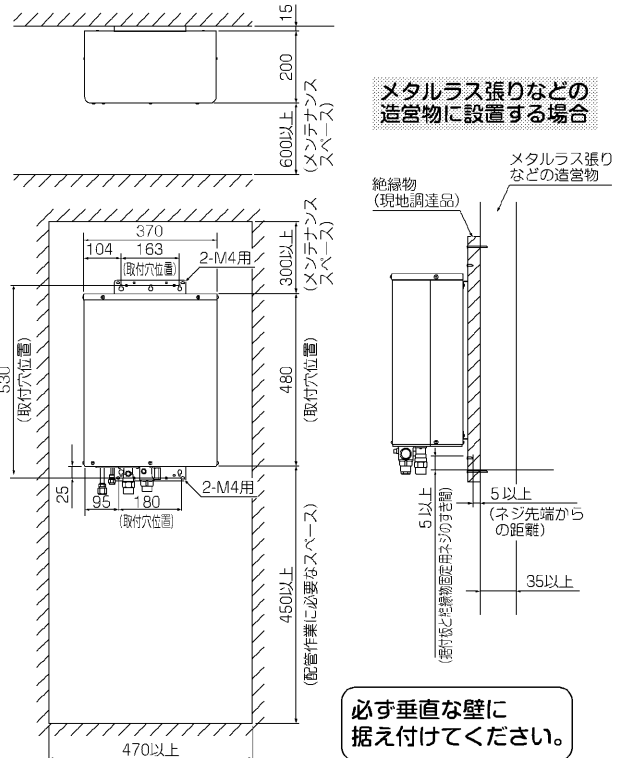
P₂ : タンクにかかる最大圧力 = 安全弁設定値(95kPa)

計算例 システム水量100Lの場合

計算例	安全弁設定圧力	密閉式膨張タンク設定圧力(補給水圧力) P ₁	密閉式膨張タンクにかかる最大圧力 P ₂	密閉式膨張タンク容量	
				水	不凍液
2階設置まで(高低差5m)	95kPa	50kPa	95kPa	8L	12L
3階設置まで(高低差8m)	95kPa	80kPa	95kPa	23L	36L

寸法図

(単位: mm)

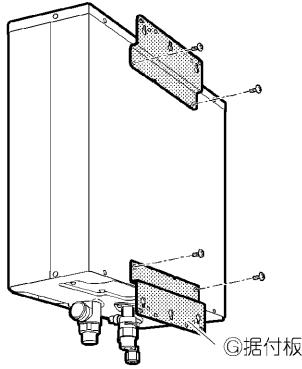


床暖房ユニットの据付け①

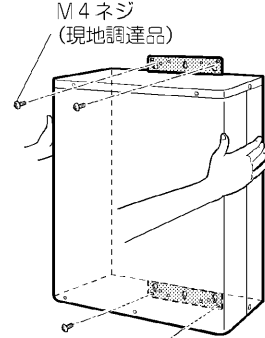
1 壁掛け設置

- ① ㊦据付板を取り付ける(2個) ② 壁面に床暖房ユニットを取り付ける

- ◆前板を取り外す前に㊦据付板を取り付けてください。
- 床暖房ユニットの背面に、取り付けてあるネジを外し、付属の㊦据付板を取り付ける。(ネジ4カ所)



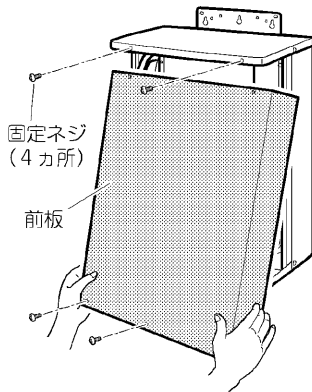
- 壁に取り付ける。(ネジ4カ所)



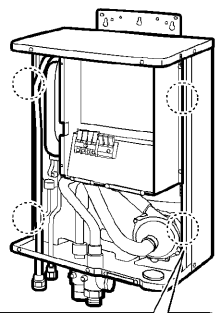
壁面がメタルラス張りなどの造営物の場合、床暖房ユニットと壁面の間に、絶縁物を入れてください。

③ 前板を取り外す

- ①固定ネジ(4カ所)を取り外す。
- ②前板を下方へスライドし手前に引き下げる。



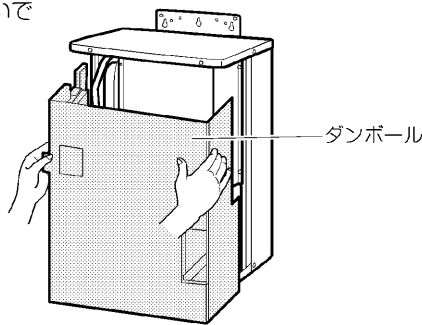
前板の取付けかた



前板にある4本のツメを本体の穴(4カ所)に確実にはめ込む。

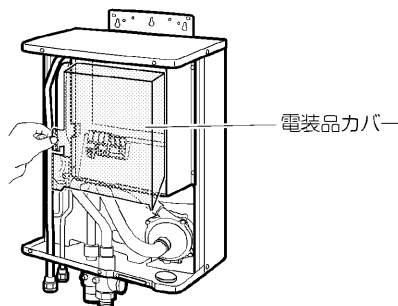
④ 緩衝材(ダンボール)を取り外す

- ◆再取付けはしないでください。



⑤ 電装品カバーを取り外す

- ◆電装品カバー左側のツメを外してから手前に取り外してください。

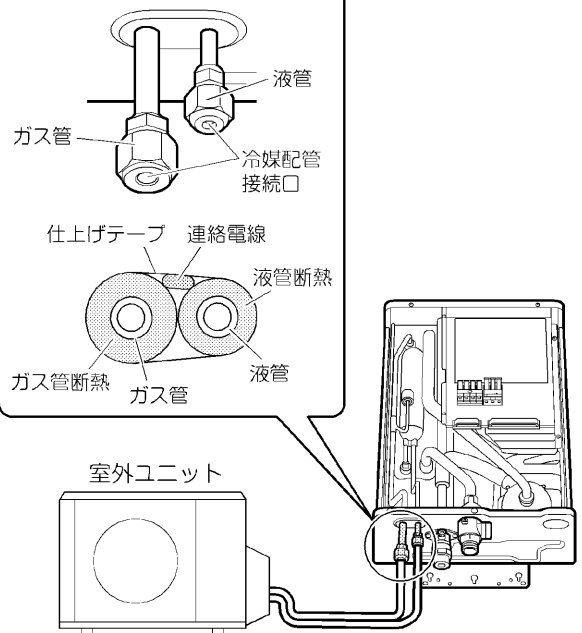


2 冷媒配管の接続

- 年数の経過によるフレアナットの腐食割れを防ぐため、フレアナットは本体付属のものを使用する。
- フレアナットの割れ防止およびガス漏れ防止のため、締付け時はトルクレンチを使用する。
- ガス漏れ防止のため、フレア内面に冷凍機油(エーテル油)を塗る。過剰な締付けトルクにならないよう、フレア外面やフレアナットのネジ部には冷凍機油を塗布しない。(フレア内面に塗布する冷凍機油は、従来のR410A用を使用することもできます)
- 冷媒配管接続部は、フレア中心を合わせ最初手回しで3~4回転ねじ込み、その後所定のトルクでしっかりと締め付ける。(必ず2丁スパナでトルクレンチを使用してください)



配管のまとめ図



フレア加工や、エアパージ、ガス漏れ確認が必要です。詳細は室外ユニットの据付説明書を参照してください。

フレアナット締付けトルク

ガス側	液側
32.7~39.9N・m (333~407kgf・cm)	14.2~17.2N・m (144~175kgf・cm)

■既設配管の接続について

- ◆本製品(R32冷媒)は、R410A冷媒で使用していた既設配管に接続可能です。

■フロンについて

R32冷媒



この製品にはGWP(地球温暖化係数)が675のフロン類が封入されています。地球温暖化防止のため、移設・修理・廃棄等に当たってはフロン類の回収が必要です。

この表示は、本製品に温暖化ガス(フロン類)が封入されていることを注意喚起するための表示です。

床暖房ユニットの据付け②

3 温水配管工事

温水配管の水漏れ試験

- ◆パネルヒーター(ラジエータ)などを接続後、パネルヒーター(ラジエータ)などの水漏れ試験要領に従って実施してください。
- ◆本体にバイパス管はありません。温水回路が全閉にならず最低2L/minの流量が流れるようにしてください。

温水配管の洗浄

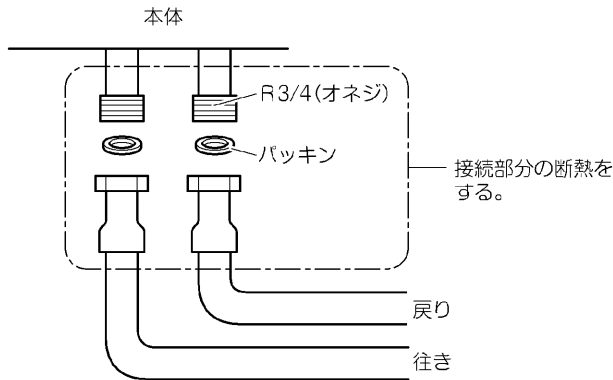
- ◆各系統を1回路ずつ順に水道水を用いて、フラックスや工事中の異物の洗浄を行います。洗浄後、エアコンプレッサを用いて配管内に水が残らないように排水します。

床暖房ユニットへの温水配管の接続

- ◆本体の温水配管接続口へ、行き、戻りの配管を接続します。
 - ◆異物を入れないように注意してください。
 - ◆行き配管継手は樹脂製です。
 - 継手のネジ部が破損しないよう、手回して仮締めする。
 - 2丁スパナでトルクレンチを使用し、締めトルク20N・m以下で増し締めする。
- (目安 ノンアスベストパッキン：約1/3回転、
ゴム系パッキン：約1回転)

温水配管の断熱

- ◆設置場所に応じた断熱を行ってください。



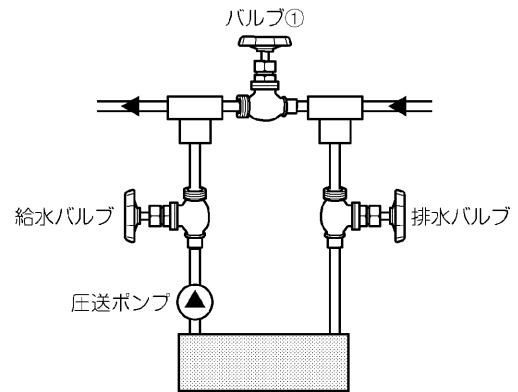
下記の条件を満たす保温材をすき間のないように確実に巻き付けてください。

保温材の条件	保温材厚さ
材質：発泡ポリエチレンフォーム 耐熱温度：70℃以上 熱伝導率：0.041~0.052W/mk (0.035~0.045kcal/mhc)	20mm以上*

*地域の環境に合わせて厚みは増してください。

水回路への給水

- (1)水張り用圧送ポンプに、キレイな水道水、または、指定不凍液を入れる。(異物を入れないよう注意)
- (2)排水バルブ、給水バルブを開く。
- (3)バルブ①を閉める(下図参照)。
- (4)温水回路上に熱動弁やサーモバルブがある場合はすべて「開」にする。
- (5)圧送ポンプを「ON」にして、水回路へ給水する。



エア抜き

- (1)圧送ポンプのスイッチを「入」にする。
 - 圧損・高低差の大きい回路から順に1回路ごとに負荷側のバルブ操作を行いエア抜きをする。
 - 圧力ゲージが安全弁の設定圧力以上にならないよう排水バルブで調節する。
- (2)温水配管内の空気が圧送ポンプに戻り、圧送ポンプ内の水位が減るので循環液を補給する。
 - 完全に空気が抜けるまでエア抜きを行う。(「ゴボゴボ」という音が消えるまで)
 - パネルヒーター(ラジエータ)のエア抜きは確実にを行う。(エアが残っていると穴あき(腐食)の原因)

戻りストレーナの掃除

- ①据付説明書2/2(リモコン設定) ⑩戻りストレーナの掃除に従って戻りストレーナを掃除する。
- もう一度(エア抜き)を行う

エア抜きが完了後、圧力設定を行う。

- (1)負荷側のバルブをすべて「開」にする。
 - (2)バルブ①を「開」にし排水バルブを徐々に「閉」にする。
 - (3)圧力ゲージが密閉式膨張タンクの設定圧力以上になったら給水、排水バルブとも「閉」とし、圧送ポンプを止める。
 - 圧力の微調整は圧力ゲージを見ながら給水、排水バルブを開閉して行う。
- ◆試運転にて湯温が50℃以上でポンプ運転中のとき圧力が安全弁の設定圧力を超える場合は、密閉式膨張タンクの容量不足ですので、密閉式膨張タンクを再選定してください。

温水配管に樹脂配管を使用するとパネルヒーター(ラジエータ)内に錆が発生する原因になります。必ず銅配管をご使用ください。

床暖房ユニットの据付け③

4 配線工事

警告

- 据付工事は、電源を切って行う。(感電の原因)
- 連絡電線の途中接続、より線や延長コードの使用、タコ足配線はしない。(発熱や感電、火災の原因)
- リモコンコードの途中接続、タコ足配線はしない。
- 電気工事は、電気工事士の資格のある方が「電気設備に関する技術基準」「内線規程」に従って施工し、必ず専用回路を使用する。(感電や火災の原因)

前板を外して作業を行います。

ネジを外し、下方へスライドし取り外す。(ネジ4本)

リモコンの取付け

◆④ワイヤードリモコンの据付説明書を参照してください。

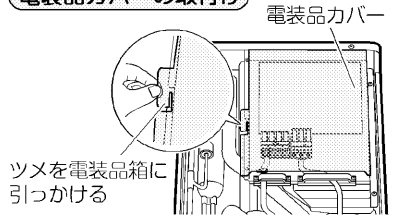
リモコンコードの接続

リモコンコード(別売品)をリモコン端子盤に接続する。
(リモコンコードに極性はありません)

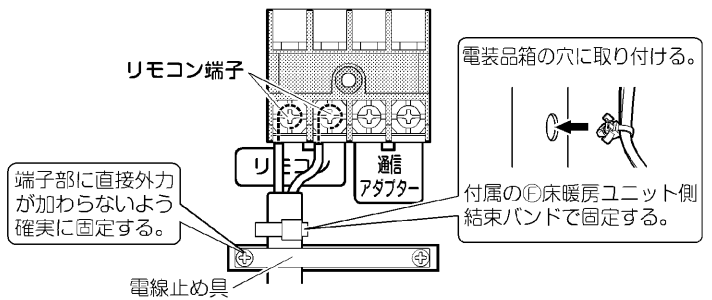
連絡電線の接続

- ①電線の被覆むきを行う。(必ず15mm)
- ②連絡電線と端子盤の色を合わせ、端子盤のそれぞれの挿入口より奥にあたるまで確実に差し込む。
- ③確実に電線が挿入されているか確認窓で確かめる。
- ④電線を引っ張り、抜けないことを確かめた後、電線止め具を取り付けて電線を固定する。
- ⑤電装品カバーを取り付け、ツメを電装品箱に引っかける。

電装品カバーの取付け



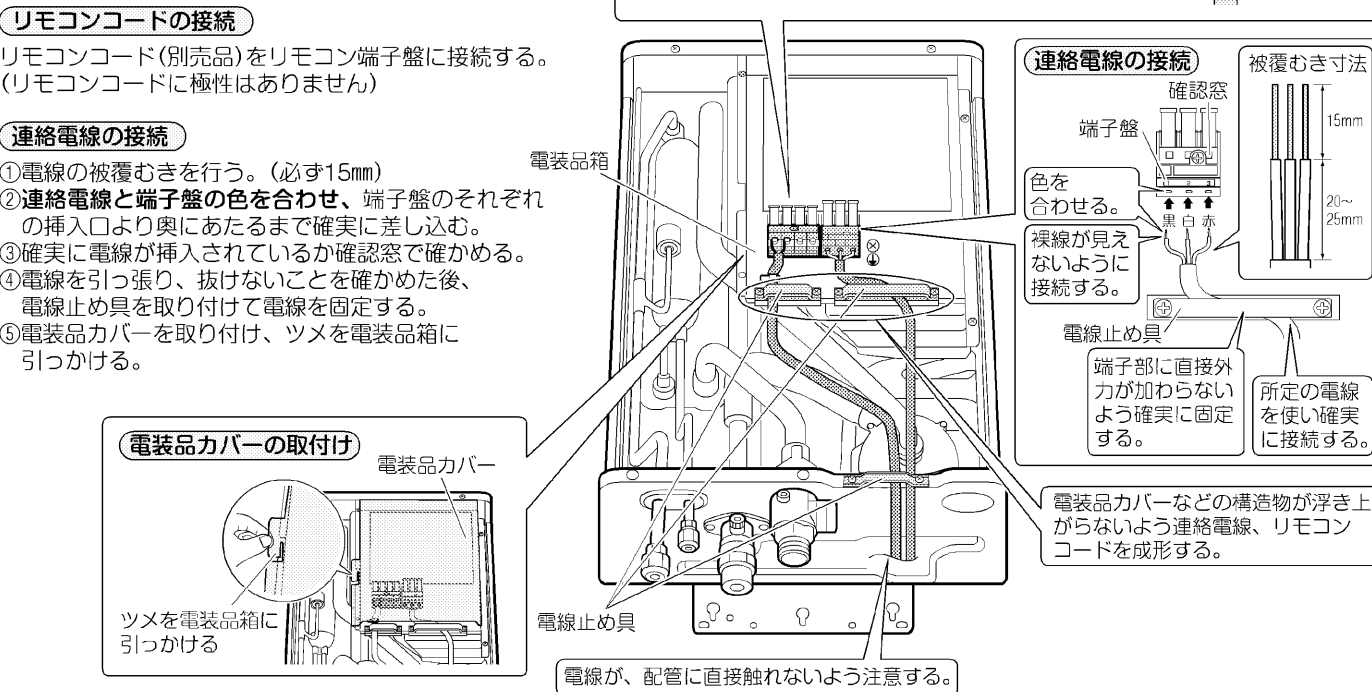
リモコンコードの接続



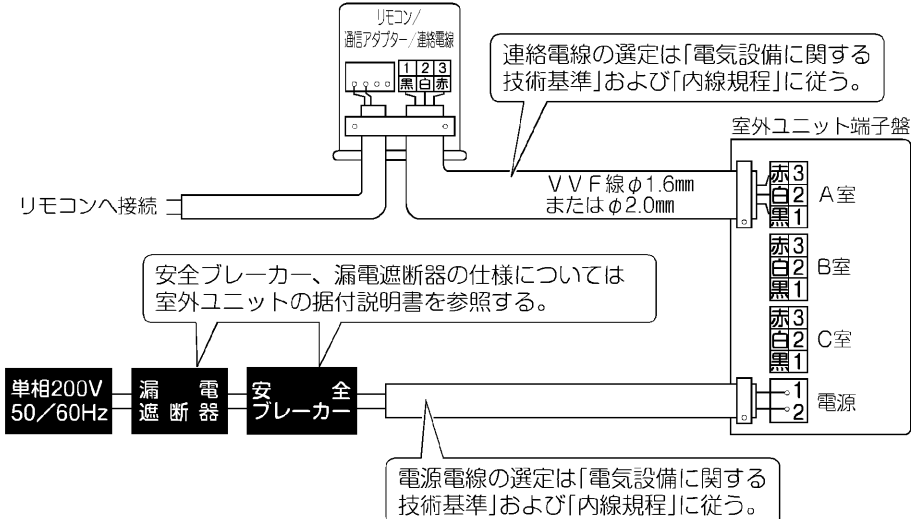
- 端子のネジはしっかり締め付ける。
- 端子への差込みかたは図のようにする。

端子のネジに、必ず右巻きで巻き付ける。

被覆むきはここまで。(被覆むきが長いと感電、漏電の原因)



床暖房ユニット端子盤



アース工事

警告

アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しない。
(感電や火災の原因)
ガス管は、ガス漏れ時に爆発、引火の危険性があります。
水道管は、感電の危険性があります。また、硬質ビニル管を使用の場合、アースの効果がありません。

接地の基準

◆漏電遮断器(高調波対応品)を取り付け、さらにD種接地工事が必要です。
(本機はインバーター装置を有するため、漏電遮断器自体の誤動作を防止するため、高調波対応品を使用してください)

D種接地工事について

◆電気工事士の方が行ってください。
●接地抵抗は500Ω以下にする。漏電遮断器は定格感度電流30mA以下で動作時間が0.1秒以下の電流動作型のものを取り付ける。

アース工事のしかた

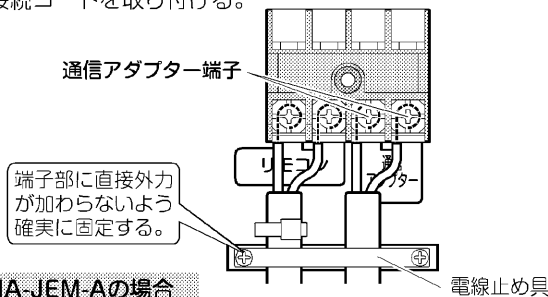
◆室外ユニットの据付説明書を参照ください。(室外ユニットには、必ずアース工事を実施してください)
◆室外ユニットにアース工事を行った場合は、床暖房ユニット側のアース工事は不要です。

必要なときに

外部機器と接続する場合

床暖房に対応した有線・無線LAN接続アダプターの場合

●床暖房ユニットの前板を外し、通信アダプター端子に接続コードを取り付ける。



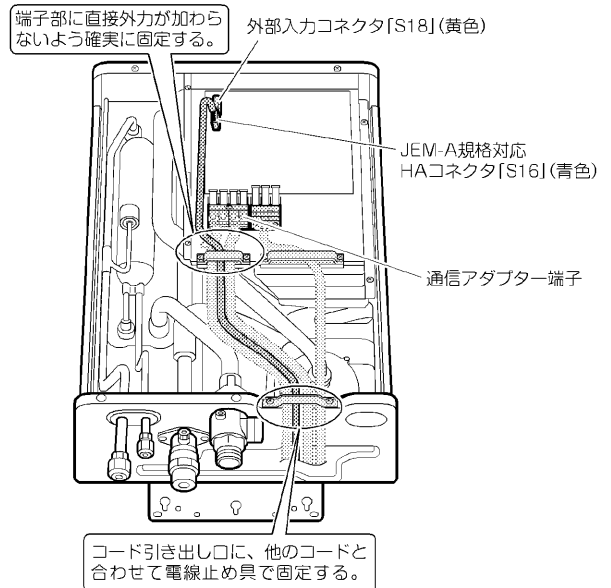
HA-JEM-Aの場合

●プリント基板上のJEM-A規格対応HAコネクタ「S16」(青色)に接続コネクタを取り付ける。

外部入力の場合

●外部入力に接続する場合は、プリント基板上の外部入力コネクタ「S18」(黄色)に接続コネクタを取り付ける。
◆詳しくは、技術ガイドで確認してください。

◆接続コードの引き回しは図を参考にしてください。



試運転前の確認

①据付説明書2/2(リモコン設定) ①電源投入 前に、下記の内容が完了していることを確認してください。

確認項目 チェック項目 欄でチェック(☑)をしてください。

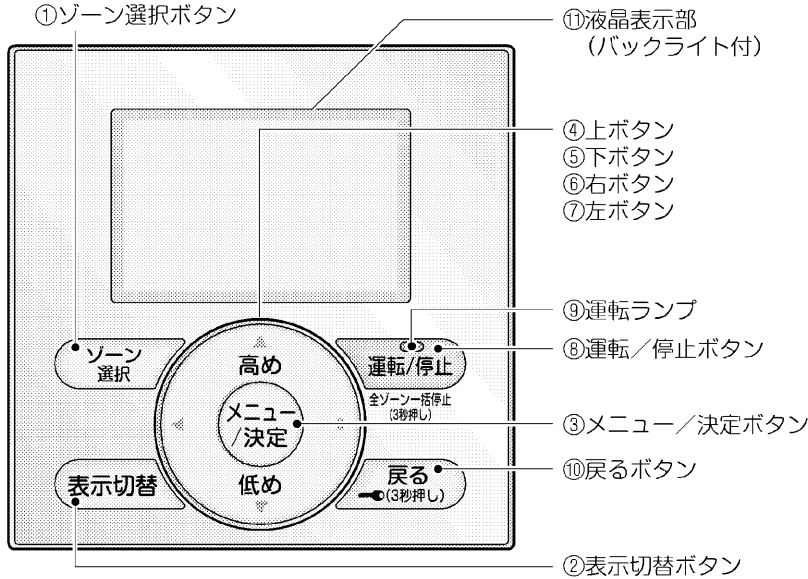
チェック項目	不良の場合
<input type="checkbox"/> 安全ブレーカー1次側で電圧を測定し、200Vであることを確認したか?	運転不能
<input type="checkbox"/> 漏電遮断器は取り付けられたか?	漏電時危険
<input type="checkbox"/> D種接地工事は確実か?	漏電時危険
<input type="checkbox"/> 床暖房ユニットはしっかり据え付けられているか?	振動、騒音、落下
<input type="checkbox"/> リモコンは正しく接続されているか?	運転不能
<input type="checkbox"/> 電線は正しく接続されているか?	暖まらない、焼損
<input type="checkbox"/> 電線は仕様どおりか?	運転不能、焼損
<input type="checkbox"/> 温水配管の断熱は十分か?	凍結、機器故障
<input type="checkbox"/> 温水配管の接続は確実か?	水漏れ、暖まらない
<input type="checkbox"/> エア抜きは確実にを行ったか?	パネルヒーターの穴あき、水漏れ、暖まらない
<input type="checkbox"/> 安全弁、圧力計、密閉式膨張タンクは正しく取り付けられているか?	暖まらない、機器故障、水漏れ
<input type="checkbox"/> 安全弁は 施工制約 で記載の設定圧力のものを選定しているか?	暖まらない、水漏れ
<input type="checkbox"/> 床暖房ユニットの電装品カバーは取り付けられたか?	焼損
<input type="checkbox"/> 緩衝材(ダンボール)は取り外したか?	異音

ヒートポンプ式床暖房

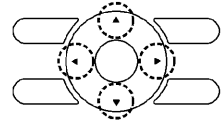
据付説明書2/2(リモコン設定)

二次元バーコードは製造用コードです。

リモコンの各ボタンの機能とメニュー項目



上下左右ボタン操作は、必ずボタンの▲印部を押してください。



①ゾーン選択ボタン

- ◆ゾーンを切り換えます。

②表示切替ボタン

- ◆エリア I、II の表示を切り換えます。

③メニュー/決定ボタン

- ◆メニューを表示します。
メニューの詳細内容は **⑪ 試運転後の初期設定** を参照してください。
- ◆設定を決定します。

④上ボタン▲

- ◆設定温度を上げます。
- ◆カーソルを上方向へ移動させます。
- ◆選択項目を変更します。

⑤下ボタン▼

- ◆設定温度を下げます。
- ◆カーソルを下方向へ移動させます。
- ◆選択項目を変更します。

⑥右ボタン▶

- ◆カーソルを右方向へ移動させます。

⑦左ボタン◀

- ◆カーソルを左方向へ移動させます。

⑧運転/停止ボタン

- ◆1度押しと運転し、もう1度押しと停止します。

⑨運転ランプ

- ◆運転中、緑色に点灯します。
異常時には点滅します。

⑩戻るボタン

- ◆基本画面に戻ります。
- ◆約3秒間長押しでチャイルドロックを設定します。
- ◆基本画面で「戻る」ボタンを先に押しながら、「表示切替」ボタンを約10秒間長押しで、現地設定メニューが表示されます。(床暖房運転停止中のみ有効です)
現地設定メニューの詳細内容は **② 現地設定メニュー** を参照してください。

⑪液晶表示部(バックライト付)

- ◆操作ボタンのいずれかを押しとバックライトが約30秒間点灯します。

① 電源投入

- ◆床暖房ユニットの配線工事が完了しているか確認してください。

1. 電源を投入する。

- ◆電源投入後、次の表示が出ます。
“接続確認中 しばらくお待ちください”
表示が出ない時は、電源(200V)と配線を確認してください。

2つのリモコンで制御する場合

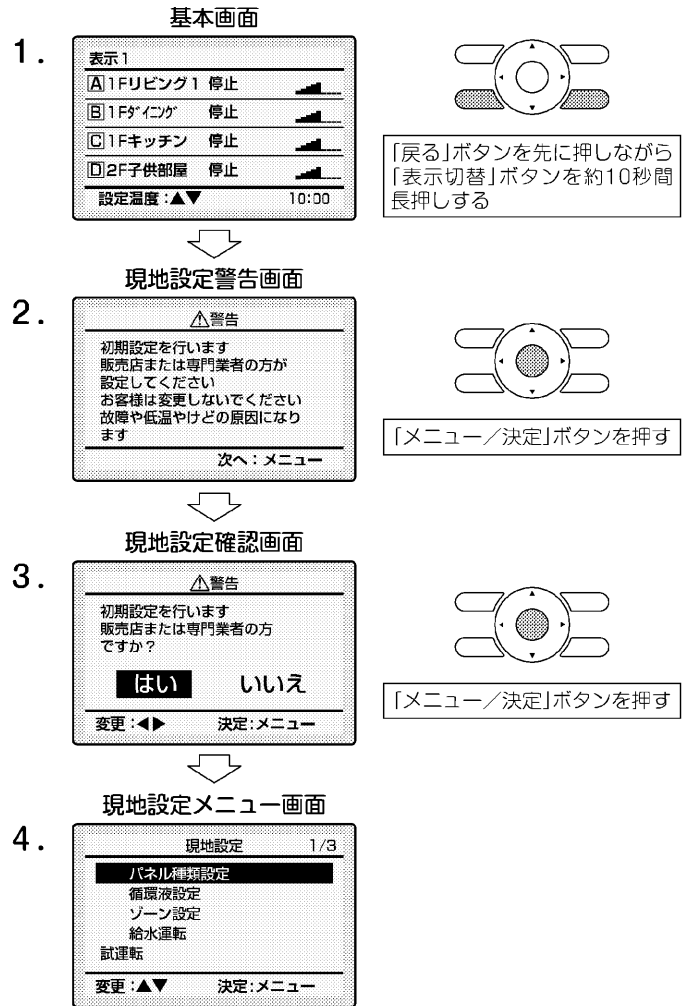
現地設定は、付属リモコンで行ってください。

付属リモコン：ARC454A2

増設リモコン：KRC071A1

② 現地設定メニュー

- 基本画面で「戻る」ボタンを先に押しながら、「表示切替」ボタンを約10秒間長押しする。
(初回電源投入時は、現地設定警告画面が表示されるため、この操作は不要です)
- 警告画面が表示される。
「メニュー／決定」ボタンを押す。
- 確認画面が表示される。
「◀▶」ボタンで **はい** を選択し、「メニュー／決定」ボタンを押す。
- 現地設定のメニュー画面が表示される。



現地設定メニュー一覧

画面	メニュー	内容	
1/3	パネル種類設定*	低温やけど防止のため、接続するパネルの種類によって最高水温を設定します。	
	循環液設定*	水道水／不凍液を選択します。	
	ゾーン設定*	各系統のゾーンを設定します。(熱動弁にゾーンを割りあてます)	
	給水運転*	床暖房ユニットに水や不凍液を補給するときに使用します。(ポンプを運転します)	
	試運転	試運転を行います。	
2/3	エリア設定	ゾーンをグループ化し、一括で運転／停止、温度設定、タイマー設定ができます。	
	水温・室温制御設定	戻り水温制御／行き水温制御を選択します。	
	水温補正設定	使用しません。	
	水温上下限設定	リモコンの最小レベル、最大レベルの水温を設定します。	
	リモコンサーモ/ 位置設定	リモコンサーモ設定 リモコン位置設定	リモコンサーモによる水温補正を有効にするゾーンを設定します。 リモコンのあるゾーンを設定し、有線・無線LAN接続アダプターへ室内温度を送信します。
3/3	その他設定	オートリスタート設定 エアコン連動有無設定 静音モード設定 リモコン名称設定 外部入力設定	運転中に停電して復電した後の動きを設定します。 エアコン連動制御の有効／無効を選択します。 静音モードの入／切を選択します。「入」に設定するとポンプの回転数が下がります。 リモコンに1～9の表示を行います。複数の床暖房ユニットが接続された場合、わかりやすくなります。 外部入出力機器の選択と運転させるゾーンの設定を行います。(HEMSは除く)
	サービス連絡先登録	連絡先の電話番号を登録します。	

※設定しないと次へ進めません。
設定が完了すると「戻る」ボタンで基本画面に戻ることができます。

③ パネル種類設定

1. 現地設定メニュー画面で、**パネル種類設定** を選択し、「メニュー/決定」ボタンを押す。
2. パネルタイプを選択し、「メニュー/決定」ボタンを押す。

開放型の場合

パネル種類	パネル名	住き水温 上限の目安
タイプ1	ホットエコフロアパネル(床材7mm)、 エコリード	45~50℃
タイプ2	ホットエコフロアパネル、はるびより、 ほっとびあN12+リネア、ほっとびあJ11	50~55℃
タイプ3	ほっとびあA12(N12)、 ほっとびあG12、G15、キュア真打、 はるびよりツイン12	55~60℃
タイプ4	タイプ3のパネルで暖まりが悪い場合のみ 設定してください。	60℃

- ◆上記以外のパネルに関しては、パネルメーカーに問い合わせてください。低温やけどのおそれのない設定にしてください。
- ◆床材は12mmが標準です。薄い床材を使用する場合は注意してください。
- ◆更新時などパネルが不明な場合は、まずタイプ1で設定ください。暖まりが悪い場合はタイプ2⇒タイプ3⇒タイプ4と順番に試してください。

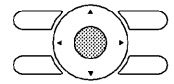
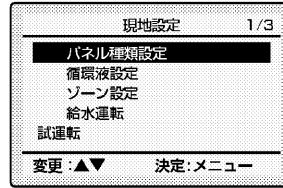
密閉型の場合

- ◆タイプ4を設定してください。

3. **はい** を選択し、「メニュー/決定」ボタンを押す。
設定した内容が確定され、現地設定メニュー画面に戻る。

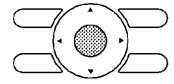
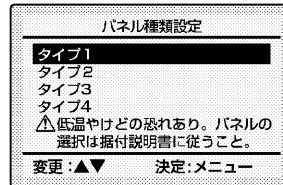
パネル種類設定画面で「戻る」ボタンを押すと
現地設定メニュー画面に戻る。

現地設定メニュー画面



「メニュー/決定」ボタンを押す

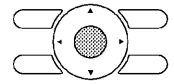
パネル種類設定画面



「メニュー/決定」ボタンを押す

確定確認画面

現地設定メニュー画面

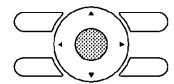
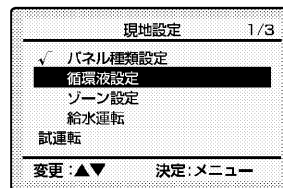


「メニュー/決定」ボタンを押す

④ 循環液設定

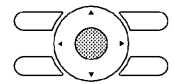
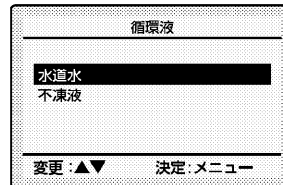
1. 現地設定メニュー画面で、**循環液設定** を選択し、「メニュー/決定」ボタンを押す。
2. 水道水か不凍液を選択し、「メニュー/決定」ボタンを押す。
◆凍結のおそれのある場合は、不凍液を使用してください。
3. **はい** を選択し、「メニュー/決定」ボタンを押す。
設定した内容が確定され、現地設定メニュー画面に戻る。

現地設定メニュー画面



「メニュー/決定」ボタンを押す

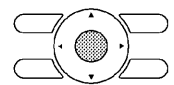
循環液設定画面



「メニュー/決定」ボタンを押す

確定確認画面

現地設定メニュー画面



「メニュー/決定」ボタンを押す

5 ゾーン設定

◆お客様と相談の上、設定してください。

1. 現地設定メニュー画面で、**ゾーン設定** を選択し、「メニュー/決定」ボタンを押す。

2.

製品種類	熱動弁の数	選択できるゾーン
6ポート	6	A~F
4ポート	4	A~D
密閉型	0	A

◆「◀▶」ボタンで熱動弁1、2、3、4、5、6を選択します。

開放型の場合

◆「▲▼」ボタンでそれぞれのゾーンをA、B、C、D、E、Fの中から選択してください。

密閉型の場合

◆Aゾーンのみを設定となります。
(ラジエータのサーモバルブで行うためです)

◆温水パイプを接続しない熱動弁(ヘッダ)は“-”を選択してください。

◆ゾーンについての詳細は取扱説明書をご確認ください。

3. ゾーンを設定したら、「メニュー/決定」ボタンを押す。

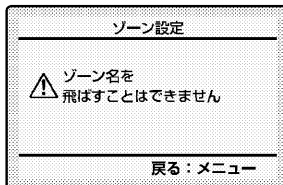
◆ゾーンはABCの順番で設定してください。
ABDDのようにCを飛ばした場合、ゾーン設定不良画面が表示されます。

【例】正しい設定……ABCC AABC

間違った設定……ACDD ABDD

間違った設定の場合、「メニュー/決定」ボタンでゾーン設定画面に戻り、もう一度設定し直してください。

ゾーン設定不良画面



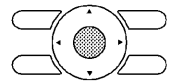
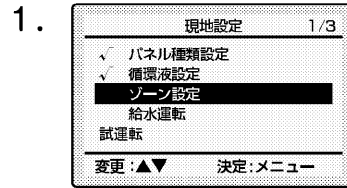
4. 正しい設定の場合、ゾーン設定確定確認画面が表示される。

はい を選択し、「メニュー/決定」ボタンを押す。
設定した内容が確定され、現地設定メニュー画面に戻る。

◆ゾーン設定を途中で変更した場合は、エリア設定も行ってください。

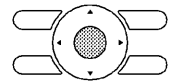
同じエリアにゾーンが5個以上設定されていると基本画面で表示されないゾーンが出ます。

現地設定メニュー画面



「メニュー/決定」ボタンを押す

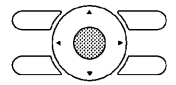
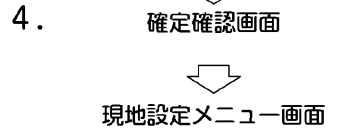
ゾーン設定画面



「メニュー/決定」ボタンを押す

(設定例)

確定確認画面



「メニュー/決定」ボタンを押す

現地設定メニュー画面

⑥ 給水運転（開放型の場合）①

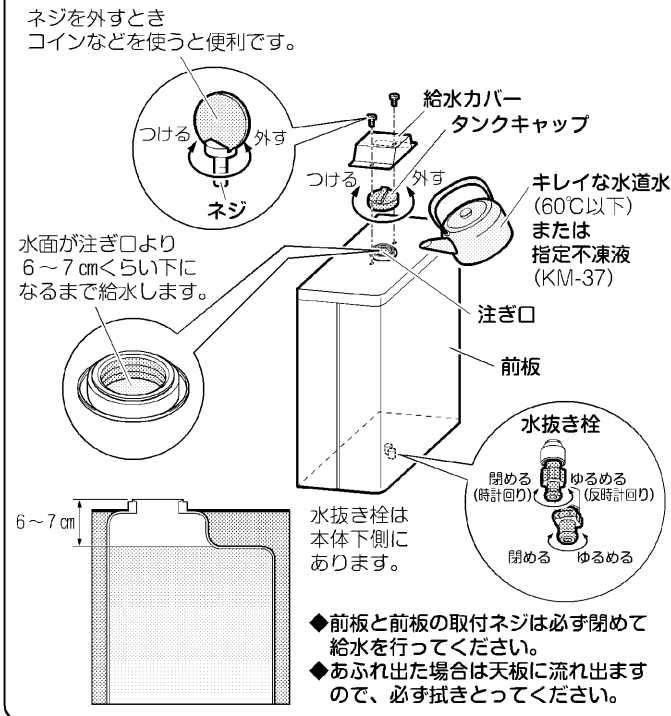
警告

床暖房ユニットに給水するときは、必ず前板を床暖房ユニットに取り付け、4本のネジで確実に固定すること。
(感電や火災の原因)

- ◆キレイな水道水(60℃以下)をご使用ください。井戸水、工業用水、添加剤、ゴミなどは入れないでください。
 - ◆不凍液を使用される場合は、指定の不凍液KM-37を使用してください。
- 不備があると、故障の原因になります。

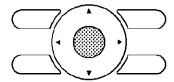
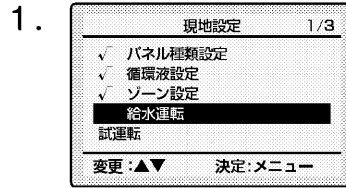
1. 現地設定メニュー画面で、**給水運転** を選択し、「メニュー/決定」ボタンを押す。
2. **次へ** を選択し、「メニュー/決定」ボタンを押す。
3. **次へ** を選択し、「メニュー/決定」ボタンを押す。
下記「給水のしかた」の要領で給水してください。
◆給水せずにポンプを運転すると、ポンプの故障原因になります。

給水のしかた



4. **次へ** を選択し、「メニュー/決定」ボタンを押す。
給水運転が開始する。
5. 給水運転は、約7分で自動的に終了する。
◆水位が下がるので水面が給水タンクの注ぎ口より6~7cmくらい下になるように水を補給してください。
6. 給水運転が終了すると、給水運転完了確認画面が表示される。
はい を選択し、「メニュー/決定」ボタンを押す。

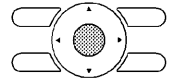
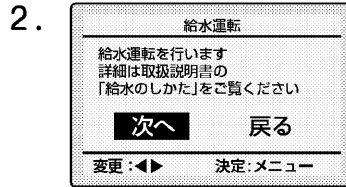
現地設定メニュー画面



「メニュー/決定」ボタンを押す



給水運転開始画面

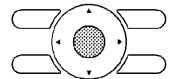
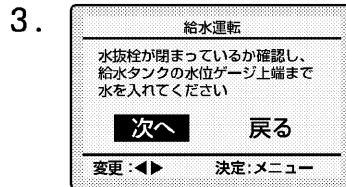


「メニュー/決定」ボタンを押す

◆取扱説明書の「給水のしかた」をご覧ください。



給水確認画面

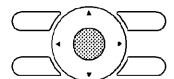
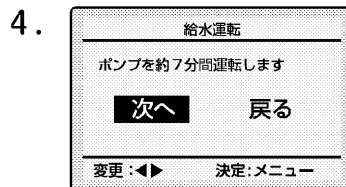


「メニュー/決定」ボタンを押す

◆本製品には水位ゲージはありませんので注ぎ口より6~7cmくらい下になるまで水を入れてください。



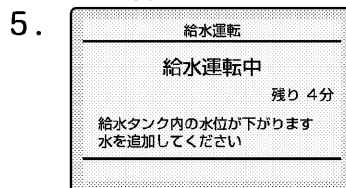
給水ポンプ運転画面



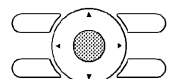
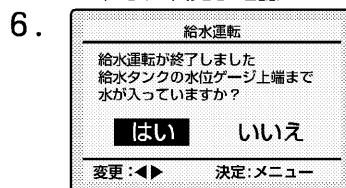
「メニュー/決定」ボタンを押す



給水運転中 タイマー表示画面



給水運転完了確認画面



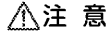
「メニュー/決定」ボタンを押す

◆注ぎ口より6~7cmくらい下になるまで水を入れてください。



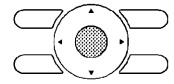
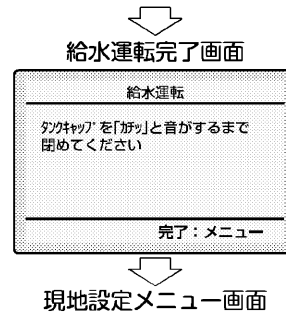
⑥ 給水運転（開放型の場合）②

7. ⑫戻りストレーナの掃除に従って、戻りストレーナを掃除する。
8. もう一度、給水運転を行い、不足した分の水をたす。
9. 給水運転完了画面が表示される。
「メニュー／決定」ボタンを押す。
給水運転を終了し、現地設定メニューに戻る。
◆マルチ室外ユニットに接続する場合、マルチ室外ユニットに付属の据付説明書に従って誤配線・誤配管チェックを行ってください。
10. タンクキャップを『カチッ』と音がするまで閉め、給水カバーをもとどおり取り付ける。



注意
給水カバーを取り付ける。
(漏電や水漏れ、故障の原因)

9.



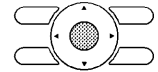
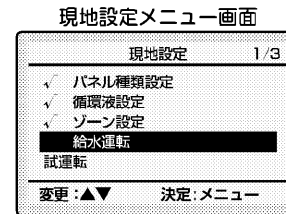
「メニュー／決定」ボタンを押す

⑥ 給水運転（密閉型の場合）①

- 据付説明書1/2 床暖房ユニットの据付け②
- ③ 温水配管工事 水回路への給水 エア抜き、
- 床暖房ユニットの据付け③ ④ 配線工事 が終了していることと水回路での水漏れがないことを確認してから行う。

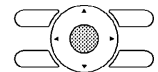
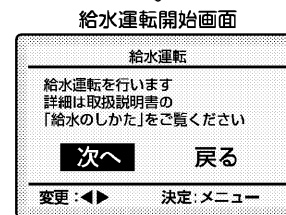
1. 現地設定メニュー画面で、**給水運転** を選択し、「メニュー／決定」ボタンを押す。
2. **次へ** を選択し、「メニュー／決定」ボタンを押す。
3. **次へ** を選択し、「メニュー／決定」ボタンを押す。
4. **次へ** を選択し、「メニュー／決定」ボタンを押す。
給水運転が開始する。
◆給水せずにポンプを運転すると、ポンプの故障原因になります。
5. 給水運転は、約7分で自動的に終了する。

1.



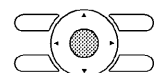
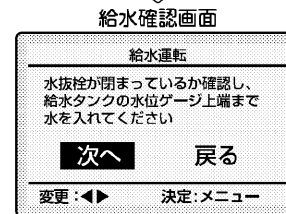
「メニュー／決定」ボタンを押す

2.



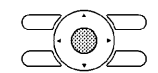
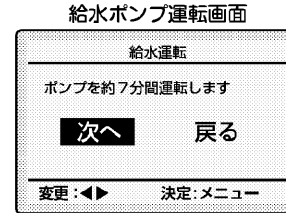
「メニュー／決定」ボタンを押す

3.



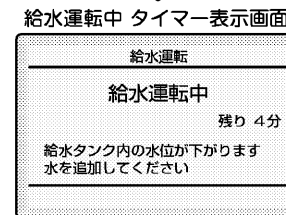
「メニュー／決定」ボタンを押す

4.



「メニュー／決定」ボタンを押す

5.



⑥ 給水運転（密閉型の場合）②

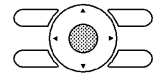
6. 給水運転が終了すると、給水運転完了確認画面が表示される。
はい を選択し、「メニュー/決定」ボタンを押す。

6. 給水運転完了確認画面

給水運転
 給水運転が終了しました
 給水タンクの水位ゲージ上端まで
 水が入っていますか？

はい いいえ

変更：◀▶ 決定：メニュー



「メニュー/決定」ボタンを押す

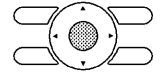
7. 給水運転完了画面が表示される。
 「メニュー/決定」ボタンを押す。
 給水運転を終了し、現地設定メニューに戻る。

7. 給水運転完了画面

給水運転

タンクトップを「ガッ」と音がするまで
 閉めてください

完了：メニュー



「メニュー/決定」ボタンを押す

- ◆マルチ室外ユニットに接続する場合、マルチ室外ユニットに付属の据付説明書に従って誤記線・誤配管チェックを行ってください。

現地設定メニュー画面

⑦ エリア設定

- ◆取扱説明書を確認しながら、お客様と相談の上、設定してください。

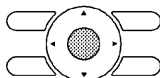
1. 現地設定メニュー画面で、**エリア設定** を選択し、「メニュー/決定」ボタンを押す。

1. 現地設定メニュー画面

現地設定 2/3

エリア設定
 水温・室温制御設定
 水温補正設定
 水温上下限設定
 リモコンサーモ/位置設定

変更：▲▼ 決定：メニュー



「メニュー/決定」ボタンを押す

2. 開放型の場合

「◀▶」ボタンでゾーンを選択し、
 「▲▼」ボタンでそれぞれエリアを設定する。
 “I”か“II”を選択してください。

⑥ゾーン設定で設定しなかったゾーンは表示されません。

◆エリアについての詳細は取扱説明書をご確認ください。

すべてのゾーンにエリアを設定し、「メニュー/決定」ボタンを押す。

◆各エリアは最大4つのゾーンまで設定できます。

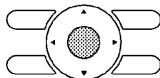
◆エリアIIのみの設定はできません。

2. エリア設定画面

エリア設定

ゾーン	A	B	C	D	E	F	G	H
エリア	I	I	I	I	II	II	-	-

変更：▲▼◀▶ 決定：メニュー



「メニュー/決定」ボタンを押す

リモコン1台で、LDKなど1つのお部屋をコントロールする場合は、**すべてエリアI**に設定した方が便利です。

密閉型の場合

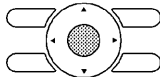
「◀▶」ボタンでゾーンを選択し、
 「▲▼」ボタンでそれぞれエリアを設定する。
 すべて“I”を選択してください。

すべてのゾーンにエリアを設定し、「メニュー/決定」ボタンを押す。

3. 確定確認画面

確定確認画面

現地設定メニュー画面



「メニュー/決定」ボタンを押す

3. **はい** を選択し、「メニュー/決定」ボタンを押す。
 設定した内容が確定され、現地設定メニュー画面に戻る。

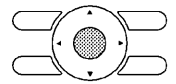
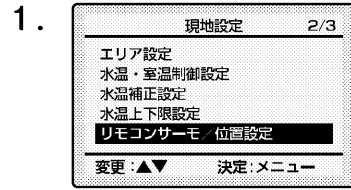
8 リモコンサーモ / 位置設定

リモコンサーモ設定

- ◆ゾーンごとの目標温度補正に、室内温度を採用するときに設定します。(初期設定:「-(使用しない)」)
リモコンを設置しているゾーン、および代用できるゾーンに設定してください。
- ◆屋外温度による温度補正は無効にはなりません。

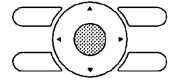
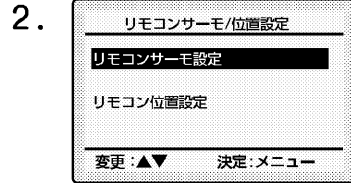
1. 現地設定メニュー画面で、**リモコンサーモ / 位置設定** を選択し、「メニュー / 決定」ボタンを押す。
2. リモコンサーモ / 位置設定画面で **リモコンサーモ設定** を選択し、「メニュー / 決定」ボタンを押す。
3. 「◀▶」ボタンで温度補正を行いたいゾーンを選択し、「▲▼」ボタンで「○」を設定する。
◆リモコンを2台接続した場合は、それぞれのゾーンが属するエリアのリモコンの室内温度が採用されます。
◆離れたお部屋などで、リモコンの室内温度を使用できないときは「-」にしてください。
4. **はい** を選択し、「メニュー / 決定」ボタンを押す。
設定した内容が確定され、現地設定メニュー画面に戻る。

現地設定メニュー画面



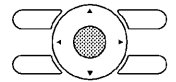
[メニュー / 決定] ボタンを押す

リモコンサーモ / 位置設定画面



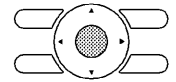
[メニュー / 決定] ボタンを押す

リモコンサーモ / 位置設定画面



[メニュー / 決定] ボタンを押す

4. 確定確認画面



[メニュー / 決定] ボタンを押す

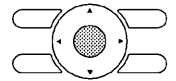
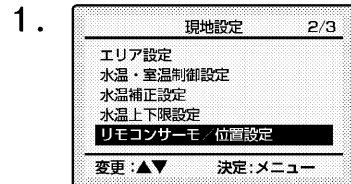
現地設定メニュー画面

リモコン位置設定

- ◆有線・無線LAN接続アダプターを接続していない場合は設定不要です。
- ◆リモコンのあるゾーンを設定し、有線・無線LAN接続アダプターへ室内温度を送信します。

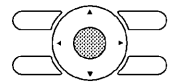
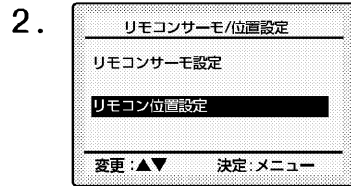
1. 現地設定メニュー画面で、**リモコンサーモ / 位置設定** を選択し、「メニュー / 決定」ボタンを押す。
2. リモコンサーモ / 位置設定画面で、**リモコン位置設定** を選択し、「メニュー / 決定」ボタンを押す。
3. 「◀▶」ボタンでリモコンを設置しているゾーンを選択し、「▲▼」ボタンで付属リモコンを設置しているゾーンは「I」、増設リモコンを設置しているゾーンは「II」を設定する。
4. **はい** を選択し、「メニュー / 決定」ボタンを押す。
設定した内容が確定され、現地設定メニュー画面に戻る。

現地設定メニュー画面



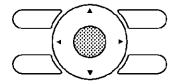
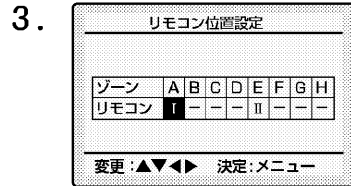
[メニュー / 決定] ボタンを押す

リモコンサーモ / 位置設定画面



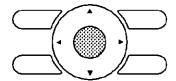
[メニュー / 決定] ボタンを押す

リモコン位置設定画面



[メニュー / 決定] ボタンを押す

4. 設定確認画面



[メニュー / 決定] ボタンを押す

現地設定メニュー画面

(裏面につづく)

9 その他設定

◆その他設定を行います。

1. 現地設定メニュー画面で、**その他設定** を選択し、「メニュー/決定」ボタンを押す。
2. 設定したいメニューを選択し、「メニュー/決定」ボタンを押す。

オートリスタート設定

運転中に停電して、復電した後の動きを設定します。「入」に設定すると、復電した時に運転を再開します。

エアコン連動有無設定

ゾーンごとにエアコン連動制御の設定をしてください。

◆エアコン連動制御を使用しない場合は、「切」を設定してください。(初期設定はすべて「切」)

◆エアコン連動制御を使用する場合は、設定部屋をA～Dで設定してください。

静音モード設定

静音モードの入/切を選択します。

「入」に設定すると、ポンプの回転数が下がります。

リモコン名称設定

リモコンに1～9の表示を行います。

複数の床暖房ユニットが接続された場合、設定してください。

リモコン名称設定

設定なし リモコン 1

変更: ▲▼▶ 決定: メニュー

外部入力設定

外部入出力機器の選択と運転させるゾーンの設定を行います。(HEMSは除く)

外部入力機器からの運転/停止は「○」を設定したゾーンのみ反応します。

外部入力設定

外部入力選択

運転/停止ゾーン選択

変更: ▲▼ 決定: メニュー

外部入力設定

外部入力選択

運転/停止ゾーン選択

変更: ▲▼ 決定: メニュー

外部入力設定

設定なし

E-con
融雪センサー
HA-JEMA

変更: ▲▼ 決定: メニュー

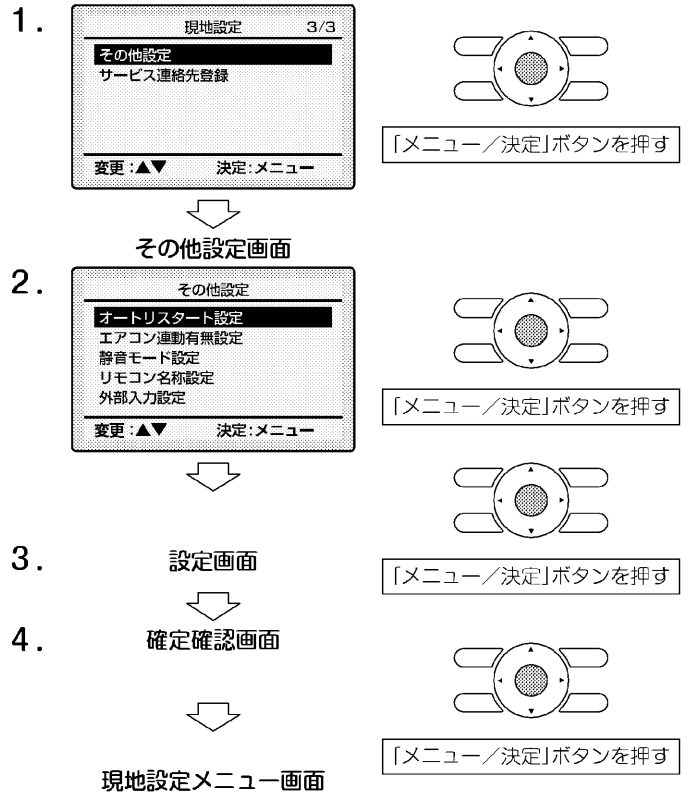
外部入力設定

ゾーン	A	B	C	D	E	F	G	H
DN/OFF	○	○	○	-	-	-	-	-

変更: ▲▼▶ 決定: メニュー

3. 設定が完了したら「メニュー/決定」ボタンを押す。
4. **はい** を選択し、「メニュー/決定」ボタンを押す。設定した内容が確定され、現地設定メニュー画面に戻る。

現地設定メニュー画面



必要な
ときに

水温・室温制御設定

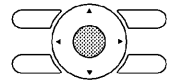
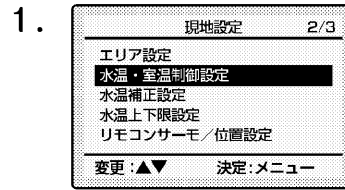
◆床暖房ユニットから初期値が送信されるため、通常は設定不要です。
用途が異なる場合、設定を変更してください。

1. 現地設定メニュー画面で、**水温・室温制御設定** を選択し、「メニュー/決定」ボタンを押す。
2. 用途によって選択し、「メニュー/決定」ボタンを押す。

製品	初期設定	主な用途
開放型 4ポート、6ポート	戻り水温制御	床暖房
密閉型	行き水温制御	パネルヒーター
—	室温制御	使用しません

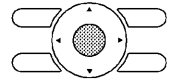
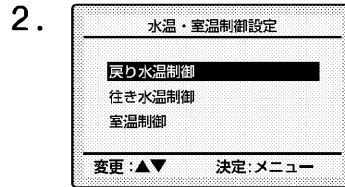
3. **はい** を選択し、「メニュー/決定」ボタンを押す。
設定した内容が確定され、現地設定メニュー画面に戻る。

現地設定メニュー画面



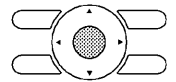
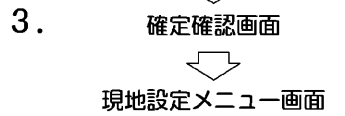
[メニュー/決定]ボタンを押す

水温・室温制御設定画面



[メニュー/決定]ボタンを押す

確定確認画面



[メニュー/決定]ボタンを押す

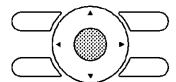
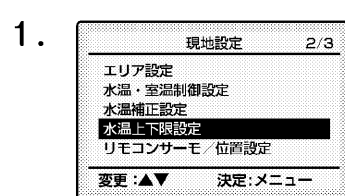
必要な
ときに

水温上下限設定

◆通常は設定不要です。
用途が異なる場合、設定を変更してください。
水温・室温制御設定で「戻り水温制御」を選択した場合、
設定が有効になります。

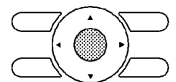
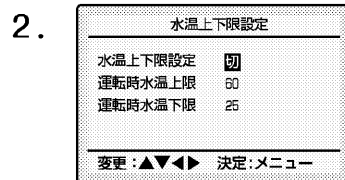
1. 現地設定メニュー画面で、**水温上下限設定** を選択し、「メニュー/決定」ボタンを押す。
2. 「◀▶」ボタンで変更したい項目を選択し、「▲▼」ボタンで入/切、水温の上限下限を設定する。
運転時水温上限：26～60℃(行き水温の上限)
運転時水温下限：10～25℃(戻り水温の下限)
3. **はい** を選択し、「メニュー/決定」ボタンを押す。
設定した内容が確定され、現地設定メニュー画面に戻る。

現地設定メニュー画面



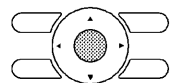
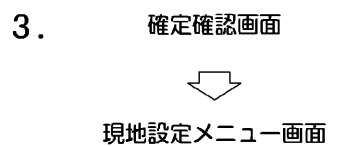
[メニュー/決定]ボタンを押す

水温上下限設定画面



[メニュー/決定]ボタンを押す

確定確認画面



[メニュー/決定]ボタンを押す

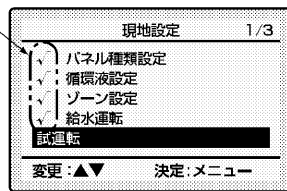
10 試運転

試運転前の注意

- ◆マルチ室外ユニットに接続する場合、マルチ室外ユニットに付属の据付説明書に従って誤配線・誤配管チェックを行ってください。
- ◆他のエアコンを停止させてください。

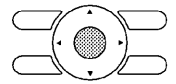
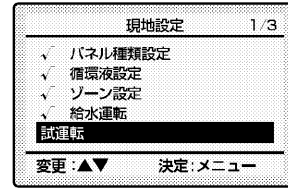
1. 現地設定メニュー画面で **試運転** を選択し、「メニュー/決定」ボタンを押す。

「✓」が表示されていることを確認してください。「✓」はすでに設定していることを示します。「パネル種類設定」、「循環液設定」、「ゾーン設定」、「給水運転」は試運転前に必ず設定してください。



現地設定メニュー画面

1.

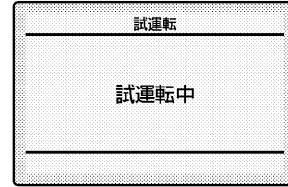


「メニュー/決定」ボタンを押す



試運転中画面

2.



基本画面

2. 試運転中画面が表示される。

- ◆約20分間運転後、自動的に停止し、基本画面に戻ります。
- ◆リモコンに異常コード「U2」が表示された場合は、電源電圧を確認してください。

開放型の場合

- ◆リモコンに「給水運転を行ってください」が表示された場合は、水位、配管詰まり、誤配管、ゾーン設定間違い、パネル制約不良を確認してください。

異常時	修正した後に給水運転を行い、もう一度試運転を行う。
正常時	給水運転を行った後、試運転として全ゾーン運転を行う。(屋外温度が24℃を超えると、運転範囲を超えているので、試運転時に「給水運転を行ってください」と表示する場合があります)

密閉型の場合

- ◆リモコンに「給水運転を行ってください」が表示された場合は、据付説明書1/2 **床暖房ユニットの据付け②** **3** **温水配管工事** の **(エア抜き)** を確認して、もう一度試運転を行ってください。

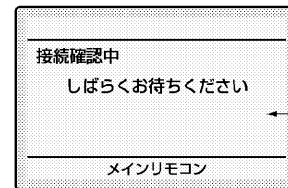
試運転後の注意

- ◆床暖房ユニットを運転していないときでも、水の凍結防止や水あかの付着防止のため、自動的にポンプを運転しますので、作業終了後もブレーカーを入れておいてください。水も常に入れたままにしておいてください。
- ◆冬期にお客様への引き渡しまでにブレーカーを切られる場合には、凍結による機器の故障を防ぐため必ず水抜きを行ってください。引き渡し時に給水してください。(指定不凍液を使用の場合は、水抜きを行わないでください) 詳細は取扱説明書をご確認ください。
- ◆ブレーカーを切る場合は、必ずリモコンで停止してからブレーカーを切ってください。

現地設定メニューの設定を変更した場合

各設定確定後、「戻る」ボタンを押すと、下画面が表示され、基本画面に戻ります。

現地設定メニュー画面



バックライトは消灯します。



基本画面

11 試運転後の初期設定 ①

- ◆停止中にメニューから設定します。
- ◆取扱説明書を確認しながら、お客様と相談のうえ、設定してください。

メニュー一覧

画面	メニュー	内容	
1/3	タイマー入/切	基本画面に表示しているゾーンのタイマーの入/切を一括で設定します。 (あらかじめタイマーの時刻設定が必要です)	
	タイマー時刻設定	基本画面に表示しているゾーンまたは全ゾーンへのタイマーの時刻設定を一括で設定します。	
	運転モード	通常運転	水温の補正を行いません。
		快適自動	室外・室内温度による補正を行います。
		エコ運転	目標水温を低めに設定します。
		パワフル運転	目標水温を高めに設定します。
エアコン連動		エアコン連動を行います。	
時計合せ ^{*1}	現在時刻を設定します。		
2/3	エリア設定 ^{*2}	表示1、表示2に表示するゾーンを設定します。	
	アダプター情報表示	有線・無線LAN接続アダプターの情報をリモコンに表示します。	
	ゾーン名登録 ^{*1}	各ゾーンの名称を登録することができます。	
	サービス連絡先/機種名 ^{*1}	サービス連絡先とお使いの製品の機種名を表示します。	
3/3	給水運転 ^{*2}	床暖房ユニットに水を補給するときに使用します。(ポンプを運転します)	
	水抜き運転	床暖房ユニットの水を抜くときに使用します。(ポンプを運転します)	
	コントラスト設定	表示部の濃淡を調節します。	
	バックライト設定	表示部の照明を設定します。	

※1 お客様への引き渡し前に、必ず設定してください。

※2 密閉型では使用しません。

1 時計合せ

1. 基本画面で、「メニュー/決定」ボタンを押す。

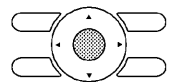
2. メニュー画面が表示される。
時計合せ を選択し、「メニュー/決定」ボタンを押す。

3. 「◀▶」ボタンで位置を選択し、「▲▼」ボタンで【時(0~23)】【分(00~59)】を設定、「メニュー/決定」ボタンを押す。

4. **はい** を選択し、「メニュー/決定」ボタンを押す。
 設定した内容が確定され、基本画面に戻る。

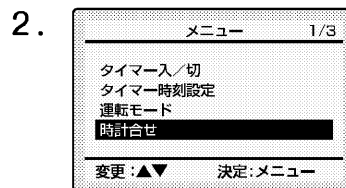
- ◆2台のリモコンを使用している場合は、片方を時刻設定するともう一方も同じ時刻に設定されます。(最大1分のずれがあります。)
- ◆床暖房ユニットが複数台接続されている場合は、各床暖房ユニットごとのリモコンで時刻合せが必要となります。

1. 基本画面



メニュー画面

「メニュー/決定」ボタンを押す



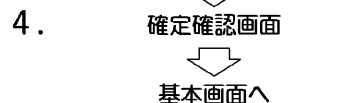
「メニュー/決定」ボタンを押す

時刻設定画面



「メニュー/決定」ボタンを押す

確定確認画面



「メニュー/決定」ボタンを押す

基本画面へ

11 試運転後の初期設定 ②

2 ゾーン名登録

◆開放型のみ設定します。以下のゾーン登録名から選択してください。

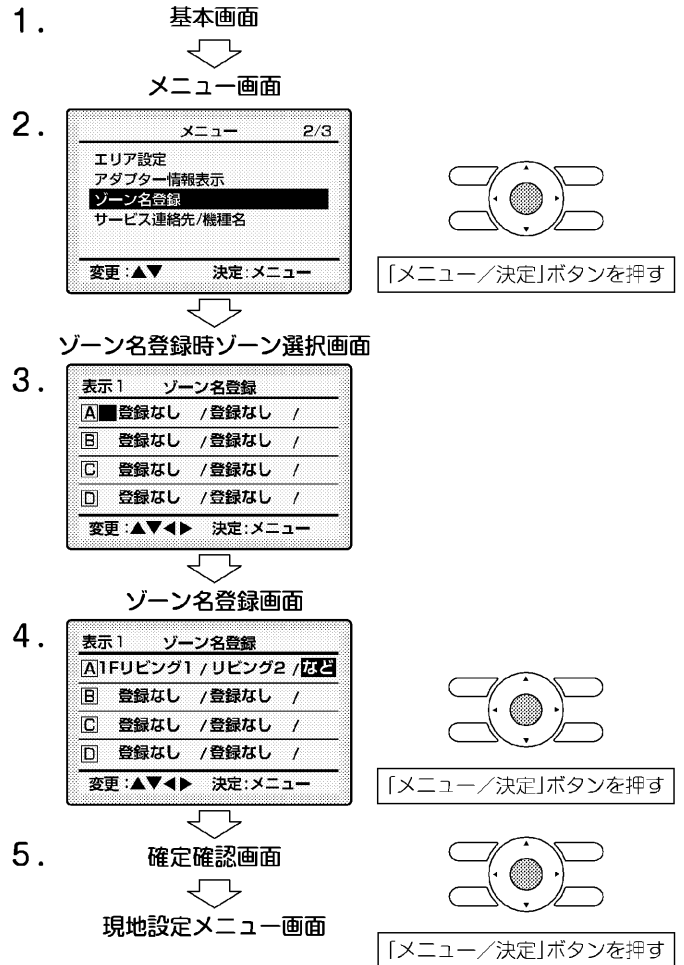
登録なし	大壁和室	ファミールーム
リビング	洋室	玄関
ダイニング	LD	廊下
キッチン	DK	部屋
子供部屋	真壁和室	応接
主寝室	加ゼット	階段
洗面脱衣	納戸	庭・外周
トイレ	書斎	ベランダ
浴室	ユーティリティ	車庫
LDK	夕コーナー	その他
ホール	事務所	

- 基本画面で、「メニュー/決定」ボタンを押す。
- ゾーン名登録** を選択し、「メニュー/決定」ボタンを押す。
- 「ゾーン選択」ボタンで変更するゾーンを選択する。
- 「◀▶」ボタンで、変更したい項目を選択し、「▲▼」ボタンで選択する。
他のゾーンも3、4の手順で登録し、「メニュー/決定」ボタンを押す。

	①	②	③	④	⑤	⑥
表示1	ゾーン名登録					
A	1F	リビング1	/	リビング2	/	など
B		登録なし	/	登録なし	/	
C		登録なし	/	登録なし	/	
D		登録なし	/	登録なし	/	
変更: ▲▼▶▶ 決定: メニュー						

- 階情報
1F~4Fで選択できます。
- 部屋名称1
- 部屋名称番号1
1~7で選択できます。
- 部屋名称2
- 部屋名称番号2
1~7で選択できます。
- その他
「など」を選択できます。
ゾーンに3つ以上のお部屋がある場合などに選択してください。

- はい** を選択し、「メニュー/決定」ボタンを押す。
設定した内容が確定され、現地設定メニュー画面に戻る。

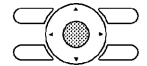
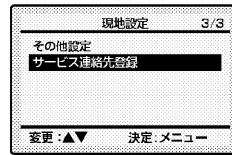


11 試運転後の初期設定 ③

3 サービス連絡先登録

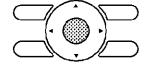
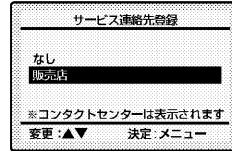
1. 現地設定メニュー画面で、**サービス連絡先登録** を選択し、「メニュー/決定」ボタンを押す。
2. **販売店** を選択し、「メニュー/決定」ボタンを押す。
3. 「◀▶」ボタンで位置を選択し、「▲▼」ボタンで電話番号を入力する。
◆左づめで入力し、余った桁は“-”のままにします。
電話番号の間違いにご注意ください。
4. 登録後、「メニュー/決定」ボタンを押す。
5. 確定確認画面が表示される。
はい を選択し、「メニュー/決定」ボタンを押す。
設定した内容が確定され、現地設定メニュー画面に戻る。

現地設定メニュー画面



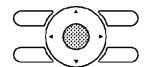
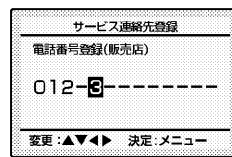
「メニュー/決定」ボタンを押す

サービス連絡先登録設定画面



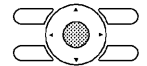
「メニュー/決定」ボタンを押す

サービス連絡先登録画面



「メニュー/決定」ボタンを押す

確定確認画面



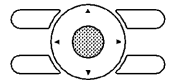
現地設定メニュー画面

「メニュー/決定」ボタンを押す

サービス連絡先/機種名の確認

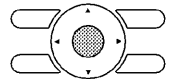
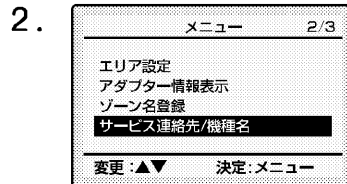
1. 基本画面で、「メニュー/決定」ボタンを押す。
2. メニュー画面で、**サービス連絡先/機種名** を選択し、「メニュー/決定」ボタンを押す。
3. サービス連絡先表示画面が表示される。
◆販売店の電話番号が登録されている場合は、販売店とコンタクトセンターの電話番号が表示されます。
◆販売店の電話番号が登録されていない場合は、コンタクトセンターの電話番号のみが表示されます。
「メニュー/決定」ボタンで、基本画面に戻る。

基本画面



「メニュー/決定」ボタンを押す

メニュー画面

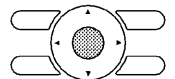


「メニュー/決定」ボタンを押す

サービス連絡先表示画面
(販売店連絡先が登録されているとき)



サービス連絡先表示画面
(販売店連絡先が登録されていないとき)



基本画面へ

「メニュー/決定」ボタンを押す

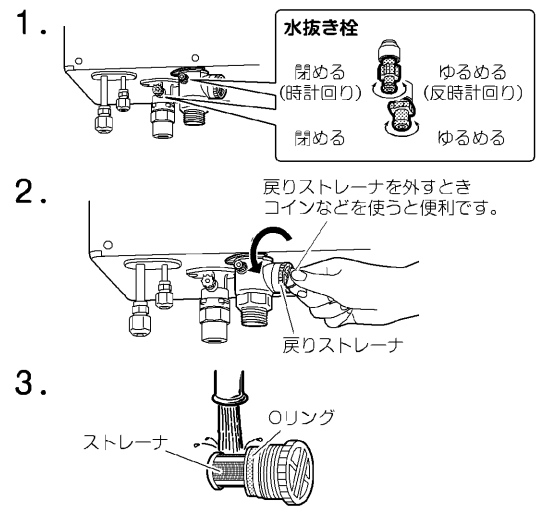
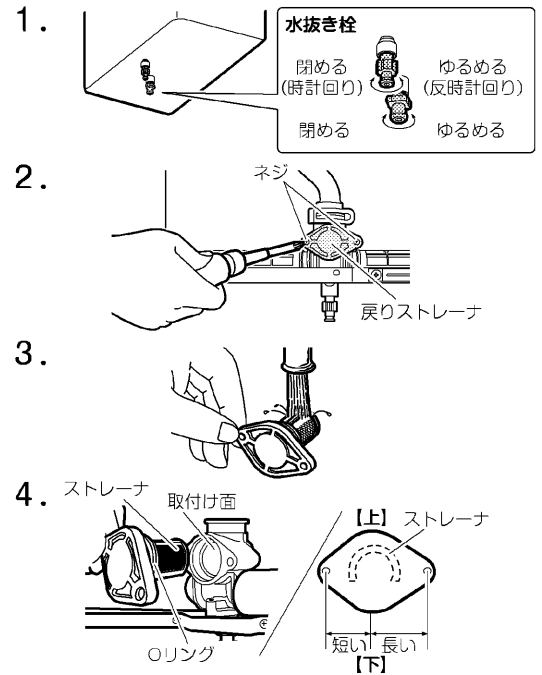
12 戻りストレーナの掃除

開放型の場合

1. 床暖房ユニット底面にある水抜き栓(2カ所)をゆるめて床暖房ユニット内の水を抜く。
(水または不凍液が出るので容器で受けるなどの処置をしてください)
2. 前板を外し、戻りストレーナを取り外す。(ネジ2本)
◆外れにくい場合は、左右に回しながら取り外してください。
3. ストレーナを水洗いする。
4. 戻りストレーナを取り付ける。(ネジ2本)
◆取付方向に注意してください。
◆ストレーナやOリング、取付け面にゴミや傷が付かないようにしてください。
◆戻りストレーナを奥まで押し込んでから、ネジで締め付けてください。
5. 前板を取り付ける。
6. もう一度、給水運転を行い、不足した分の水をたす。
◆容器に受けた不凍液を再使用する場合は、ゴミや汚れが入らないように注意してください。

密閉型の場合

1. 床暖房ユニット底の温水配管接続口にある水抜き栓(2カ所)をゆるめて床暖房ユニット内の水を抜く。
(水または不凍液が出るので容器で受けるなどの処置をしてください)
2. 戻りストレーナを取り外す。
◆戻りストレーナはコインを溝に差し込み、反時計回りに回して取り外してください。
3. ストレーナを水洗いする。
4. 戻りストレーナを取り付ける。
◆ストレーナやOリング、取付け面にゴミや傷が付かないようにしてください。
◆戻りストレーナを奥まで押し込んでから、コインを溝に差し込み、時計回りに回して取り付けてください。
5. 据付説明書1/2 **床暖房ユニットの据付け②**
3 温水配管工事の**(エア抜き)**を行う。
◆容器に受けた不凍液を再使用する場合は、ゴミや汚れが入らないように注意してください。



最終チェック

下記の内容が完了していることを確認してください。 □欄でチェック(☑)をしてください。

チェック項目	不良の場合
<input type="checkbox"/> 戻りストレーナに詰りはしないか？	暖まらない、機器故障
<input type="checkbox"/> 引き渡しまでに温水系統が凍結する可能性がある場合は、確実に水抜きを行ったか？ (不凍液を使用している場合は除く)	凍結、機器故障、水漏れ
<input type="checkbox"/> エアコン連動の設定を確認したか？ ● 設定部屋は間違っていないか？ ● エアコン連動を使用しない場合は、エアコン連動の設定を「切」にしたか？	暖まらない
<input type="checkbox"/> 初期設定の記録を取扱説明書の裏表紙と床暖房ユニットの前板(裏側)に記入したか？	点検時情報不足

お願い

- ◆保証書に必要事項を記入し、お客様にお渡しください。
- ◆取扱説明書の裏表紙の「初期設定の記録」に初期設定情報を記入し、お客様にお渡しください。
- ◆取扱説明書を見ながらお客様に実際に操作していただき、正しい運転のしかた(特に運転操作のしかた、および温度調節のしかた)をご説明ください。